

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2023年4月期調査結果（2023年6月発表分）

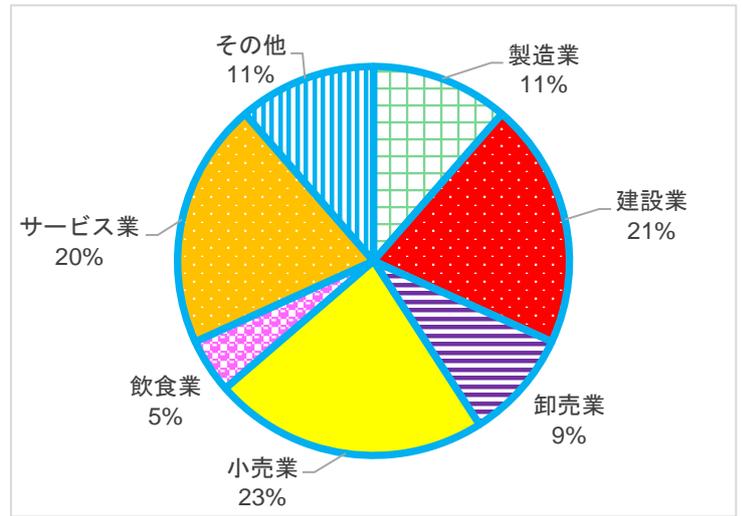
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2023年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は44名（回答率は68.8%）

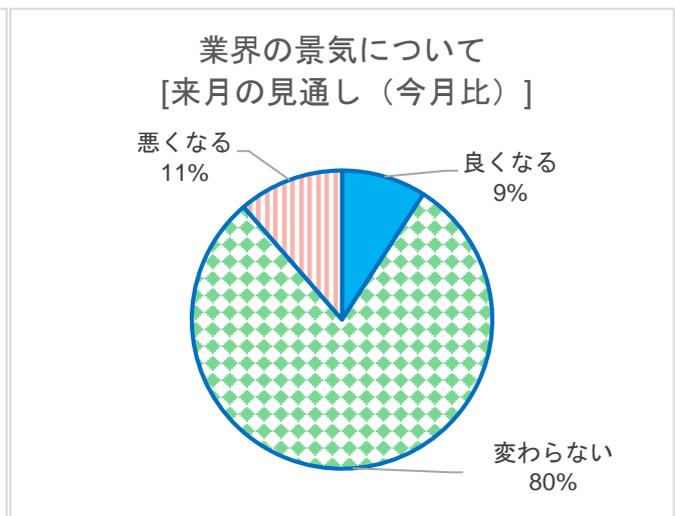
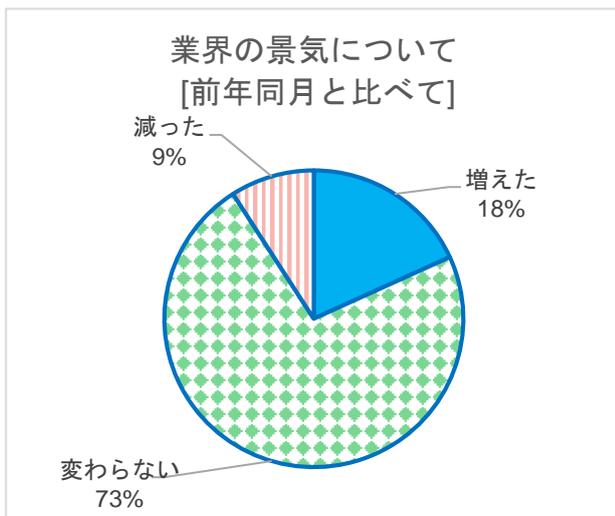
業種	回答者数	構成比
製造業	5	11.4%
建設業	9	20.5%
卸売業	4	9.1%
小売業	10	22.7%
飲食業	2	4.5%
サービス業	9	20.5%
その他	5	11.4%
計	44	100%



調査結果のポイント

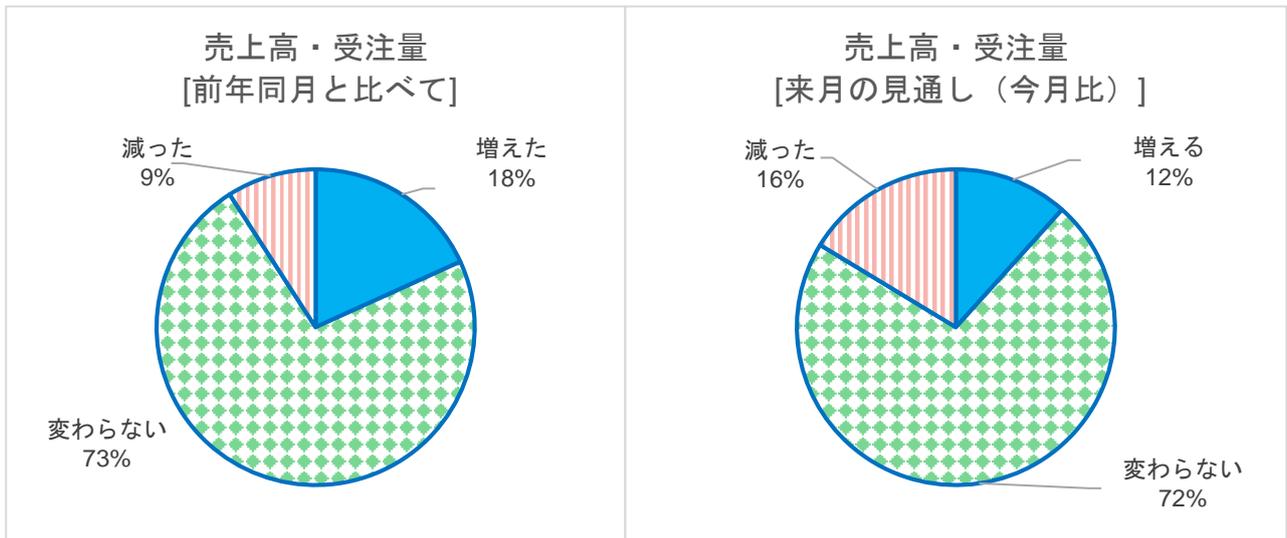
<景況>

- ・2023年4月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が18.2%、「変わらない」が68.2%、「悪くなった」が13.6%となりました。
- ・2023年5月以降の見通しについて、4月と比較して、「よくなる」が14.6%、「変わらない」が65.9%、「悪くなる」が19.5%となりました。



<売上高・受注>

- ・2023年4月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」18.2%、「変わらない」が72.7%、「減った」が9.1%となりました。
- ・2023年5月以降の見通しについて、4月と比較して、「増える」が11.6%、「変わらない」が72.1%、「減る」が16.3%となりました。



【景気動向 DI (毎月版)】

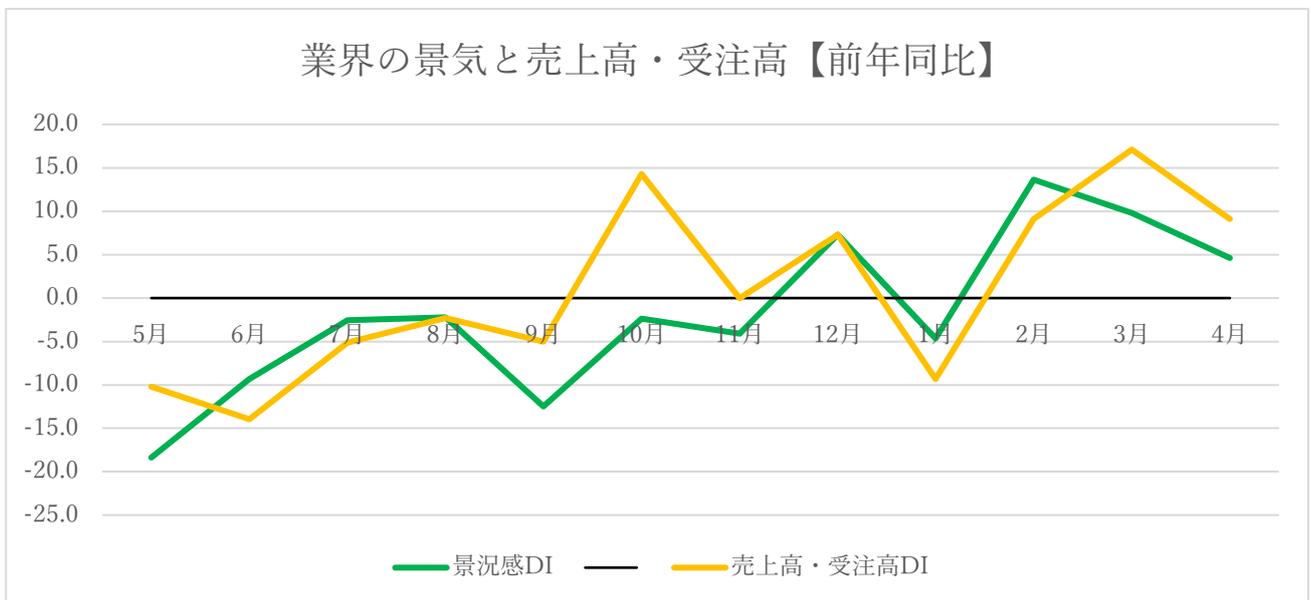
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

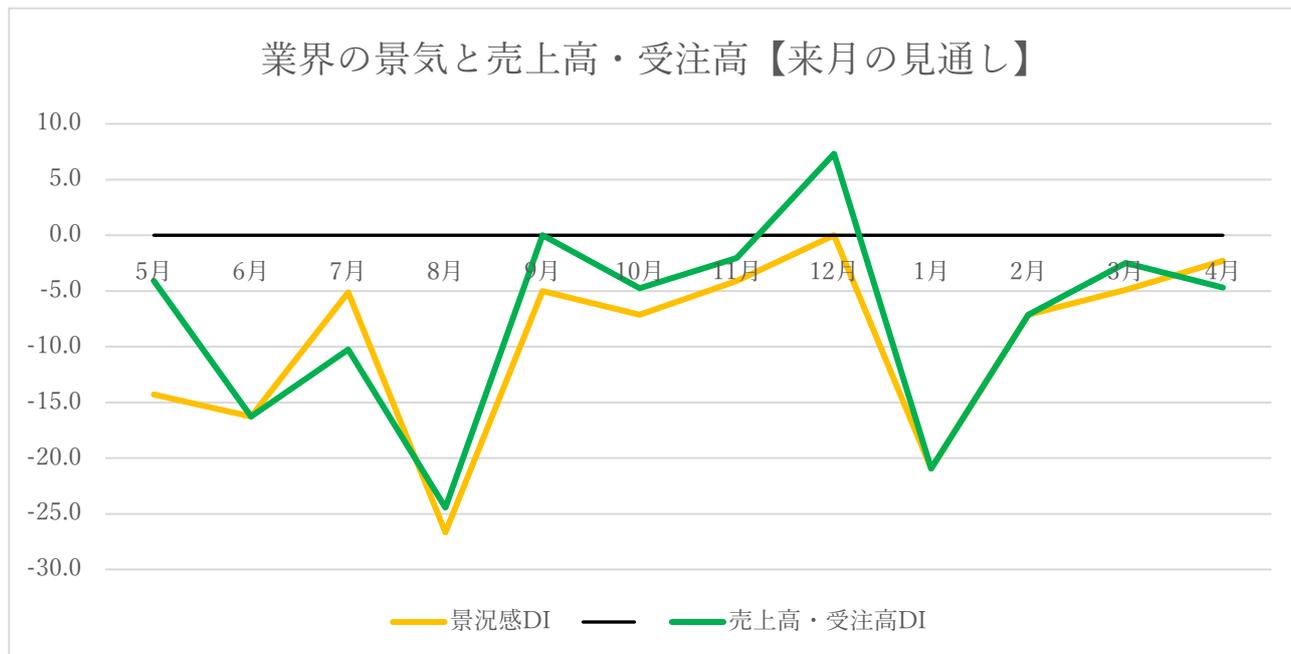
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2022年4月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
景況感DI	-18.4	-9.3	-2.6	-2.2	-12.5	-2.4	-4.1	7.3	-4.7	13.6	9.8	4.6
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
売上高・受注高DI	-10.2	-14.0	-5.1	-2.3	-5.0	14.3	0.0	7.3	-9.3	9.1	17.1	9.1

2023年4月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について[来月の見通し(今月比)]												
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
景況感DI	-14.3	-16.3	-5.1	-26.7	-5.0	-7.1	-4.1	0.0	-20.9	-7.1	-4.9	-2.3
売上高・受注量 来月の見通し(今月比)												
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
売上高・受注高DI	-4.1	-16.3	-10.3	-24.4	0.0	-4.8	-2.0	7.3	-20.9	-7.1	-2.5	-4.7

【調査対象者のコメント】

業界区分	業界動向や地域に関する困りごと	
製造業	事業協同組合 (ものづくり)	人件費の増加と人材不足に悩んでいる。
	事業協同組合(鍍金)	原材料高により、非常に厳しい状況。
	事業協同組合(機械)	製造業中小企業者のコロナ禍による通称ゼロゼロ金利の融資の返済がスムーズにいくかが課題。
建設業	土木工事業	4-6月は業界として少し落ち着く時期となり、安い見積を出す業者には価格で勝てない。価格以外の付加価値の必要性を感じている。
	一般土木建築工事業	人手不足状況は改善せず。
	経営コンサルタント	免税事業者の1人親方のインボイス問題。
	電気配線工事業	材料値上げと納期が遅れ、工事が順調に進まない。
	木製家具(製)	官の物件の発注が少ない。
卸売業	農産物 (卸・加工)	新型コロナウイルスの影響が薄れ飲食店様からの注文が順調に回復してきた。
	鑄材(卸)	工作機械などの製造機類の受注が減少している。
	菓子材料(卸)	浜北エリアでの新規オープンが多く、活気を感じる。競争も激しくなるので、生き残るためには独自性、強みを持つ必要がある。
	菓子材料(卸)	鳥インフルエンザによる卵不足の影響が大きい。また牛乳の生産

		調整により酪農離れが起きていることでの長期的な影響が懸念される。物価高による商品価格の上昇と、制限のないGWの影響が いい面、悪い面といろいろ出ているように感じている。
小売業	自動車タイヤ(小)	タイヤ価格は昨年2回の値上げに続き、今年も4月より再値上げ。昨年は駆け込み需要があったが、今年は殆ど動きが無く、諦めムードが漂っていた。燃料費の高騰も併せて企業の経費増はかなり業績に影響を与えている。
	燃料(小)	給湯器等ガス器具の納期遅延が、一部を除き解消された。
飲食業	茶(加・小)	新茶が始まったが市場と相場的に、茶業の農家への値上げはなかった。
サービス業	社会保険労務士	精神疾患を発症又は兆候が認められた者への対応について、対策を検討するケースが増えてきた。
	実業団体(税務)	価格の高騰による利益の減少、インボイス制度の導入等により、高齢事業者が廃業を考えはじめている。
	警備業	様々な催し物の開催が多くなり、それに伴う警備業務も多くなった。
	社会保険労務士	町工場の人手不足が深刻。募集しても人が集まらない。残業を減らしたくても減らせず、人材を育てられない悪循環が続く。
	税理士	新幹線を利用したインバウンド客が多い。
	司法書士	相続登記の義務化の影響で相続登記の相談が増加している。
	一般貨物自動車運送業	成車メーカーの稼働がまだ回復してきていない。コロナの影響による景気後退が長引いている。また2024年問題に向けて、人手不足の深刻化と値上げをしにくい体質が業界にある。
その他	事業協同組合(石油)	石油価格は政府の補助もあり安定している。4月の販売数量は前年より微増、通常に戻ったゴールデンウィークに期待。

■新型コロナウイルス感染症の影響	
経営コンサルタント	コロナによる影響はほとんどなくなった。
茶(加・小)	食のライフスタイルも以前に戻り、テイクアウトの注文が極端に減る。テイクアウトはやめようかと検討中。
一般貨物自動車運送業	直接的な影響はなくなったが、まだ完成車メーカーの生産回復には至っていない。
事業協同組合(機械)	コロナウイルスの5類への分類により やっとコロナ禍が終わって日常を取り戻した感がある。
楽器(製)	新型コロナウイルスの影響により、売上が低空飛行を続けていたがその影響も少しずつ減ってきたように思える。
■物価高騰・円安の影響	
楽器(製)	物価高騰についてはいまだに落ち着くことはないように思える。生活関連雑貨等も相当な値上げが続いている中で財布のひもが相当硬くなっているように感じるが、大河ドラマ関連での消費はすさまじく、浜松での景気回復に一役買ってくれると思う。
事業協同組合(鍍金)	エネルギー及び原材料高により、非常に厳しい状況。
土木工事業	建設資材が高騰している。

一般土木建築工事業	物価高の影響は依然続いており、資機材の仕入れ値は高止まり、または上昇傾向。
鑄材(卸)	円安からの物価高が経済全体に影響している。
税理士	コロナが第5類に移行するため、今後経済が活性化しそう
一般貨物自動車運送業	燃料については高値安定、冷凍倉庫の電気料金は高騰が続いている。
■インボイス制度への対応	
一般貨物自動車運送業	多少バタバタしたが、請求書の振込手数料の件は良い方向に変わってホッとしている。
■その他	
警備業	有効求人倍率の高いことが表すように、新規採用ができていない。
社会保険労務士	欧米では規制の動きもあるチャット GPT だが、元々曖昧な言い回しを多く含む日本語で精錬されていけば、かなり有能な相談相手になっていくのではないだろうか。
一般貨物自動車運送業	インフレが人件費高騰へつながり春闘が厳しくなっている

以上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2023年5月の調査結果報告（2023年7月発表分）

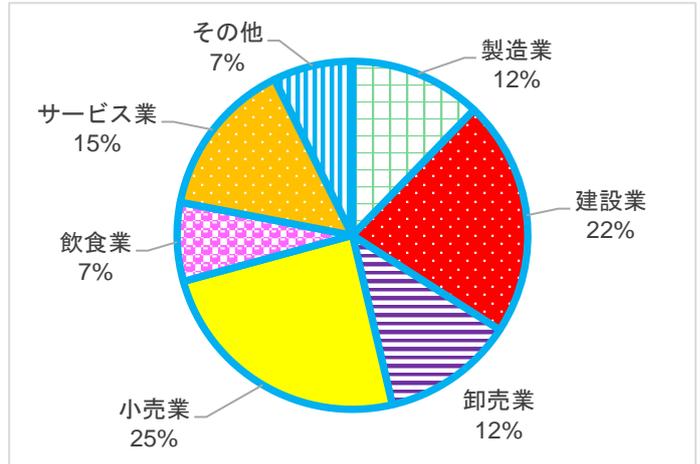
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2023年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は41名（回答率は64.1%）

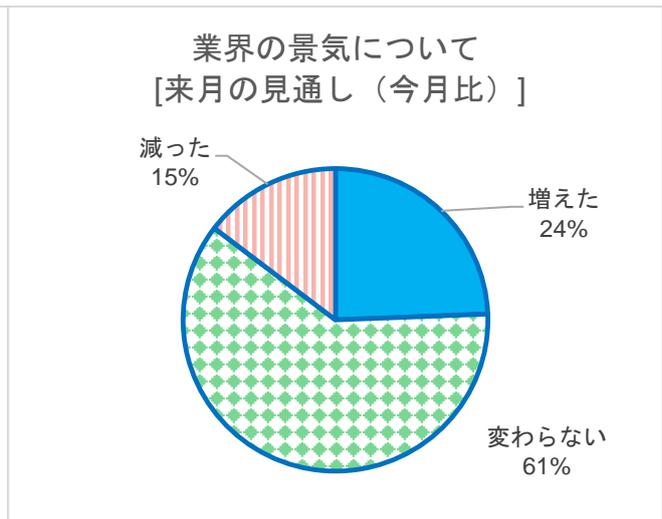
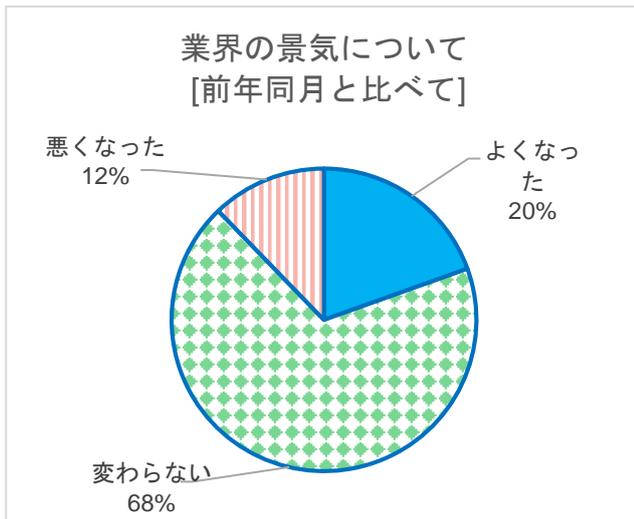
業種	回答者数	構成比
製造業	5	12.2%
建設業	9	22.0%
卸売業	5	12.2%
小売業	10	24.4%
飲食業	3	7.3%
サービス業	6	14.6%
その他	3	7.3%
計	41	100%



調査結果のポイント

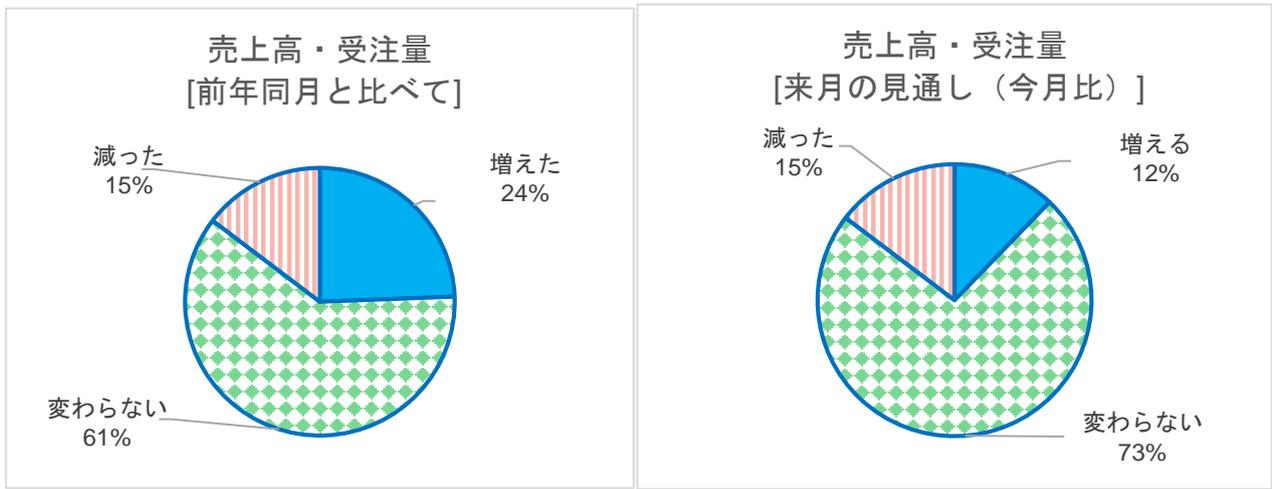
<景況>

- ・2023年5月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が19.5%、「変わらない」が68.3%、「悪くなった」が12.2%となりました。
- ・2023年6月以降の見通しについて、5月と比較して、「よくなる」が9.8%、「変わらない」が80.5%、「悪くなる」が9.8%となりました。



<売上高・受注>

- ・2023年5月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」24.4%、「変わらない」が61.0%、「減った」が14.6%となりました。
- ・2023年6月以降の見通しについて、4月と比較して、「増える」が12.2%、「変わらない」が73.2%、「減る」が14.6%となりました。



【景気動向DI（毎月版）】

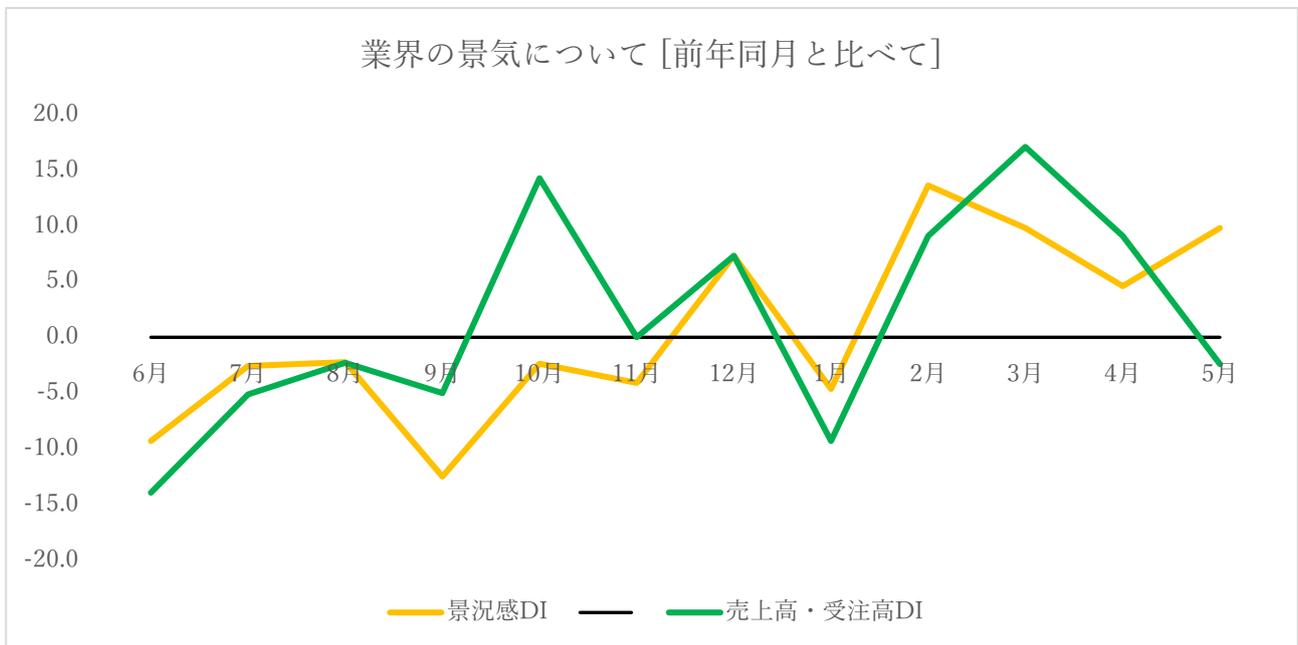
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI（ティフュージョン・インデックス）…前年同月比または前期比で「よくなった（よくなる）」と「悪くなった（悪くなる）」と回答した企業比率を引いた数値。

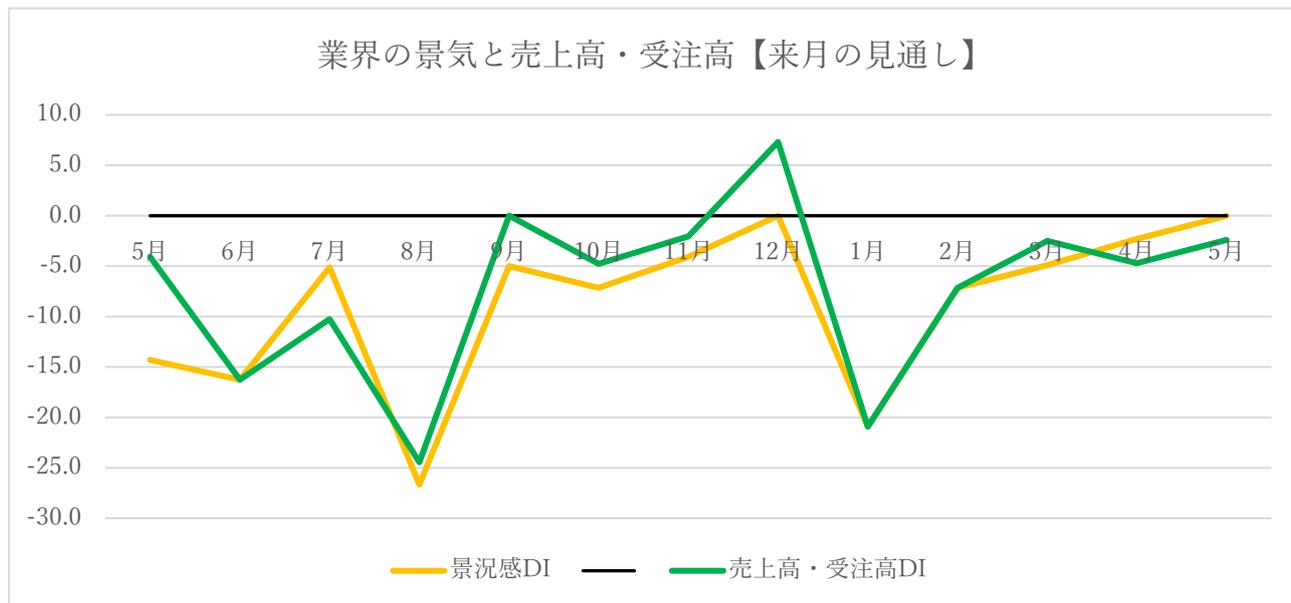
⇒0より上ならば「よくなった（よくなる）」と回答した人が「悪くなった（悪くなる）」と回答した人が多いことを意味します。

2022年6月からの景況感と売上高・受注高（前年同月比）は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
景況感DI	-9.3	-2.6	-2.2	-12.5	-2.4	-4.1	7.3	-4.7	13.6	9.8	4.6	9.8
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
売上高・受注高DI	-14.0	-5.1	-2.3	-5.0	14.3	0.0	7.3	-9.3	9.1	17.1	9.1	-2.4

2023年6月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について[来月の見通し（今月比）]													
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
景況感DI	-14.3	-16.3	-5.1	-26.7	-5.0	-7.1	-4.1	0.0	-20.9	-7.1	-4.9	-2.3	0
売上高・受注量 来月の見通し（今月比）													
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
売上高・受注高DI	-4.1	-16.3	-10.3	-24.4	0.0	-4.8	-2.0	7.3	-20.9	-7.1	-2.5	-4.7	-2.4

【調査対象者のコメント】

業界区分	業界動向や地域に関する困りごと
楽器(製)	新型コロナウイルスが流行して以来、息を使う楽器は少し敬遠されている感じがあったが、5類に移行してからはその影響も和らいできていると感じる。5月はゴールデンウィーク、浜松まつりもあったことから久しぶりに売上が多かった。この流れを継続していきたい。
事業協同組合 (ものづくり)	人材不足が続いている。
事業協同組合 (鍍金)	エネルギー・原材料の急騰により、収益率が著しく悪化している。
土木工事業	昨今の資材高騰と慢性的な担い手不足。
電気配線工事業	資材不足が解消されない、資材にもよるが発注後1～3カ月、中には18か月待ちもある。
総合建設業	若手人材の確保に苦戦している。
木製家具(製)	新卒の入社、昨年なし。本年は採用したい。
鋳材(卸)	工作機メーカーの受注減。
鋳材(卸)	工作機業界全般に受注が減少している。
税理士	下請け先の事業承継問題が深刻。
菓子材料(卸)	技術を競うコンテストが行われたが、参加者が年々減っている。働き方改革の影響に加え、電気代等の値上がりに仕事+αの技術向上の機会や意欲を奪われているのを感じる。
茶(加・小)	人の出も増えたが、もてなす店側に人も資金も余力が無い。知恵を求めて打ち合わせが増える。

家庭電化製品(販)	天候が不順な為に、季節商品の動きが鈍い。除湿機のリコールが発生した為、除湿機が間に合わない。商品が間に合うのは、秋口との事。
事業協同組合(青果)	組合員の高齢化が進んでおり、あと何年で廃業するという話をよく耳にする。
事業協同組合(石油)	販売数量は前年並み、マージンは減少と苦しい5月であった。コロナの影響はなくなったが原油価格は下がる傾向がない。政府の補助金は6月より漸減していくので、その分販売価格が上昇する。
燃料(小)	近年、災害級の豪雨による河川の氾濫や浸水が多く発生している。6月2日の豪雨では、当社の顧客に被害は無かったが、ガス容器の流出防止措置等防災対策が急務である。
事業協同組合(飲食店)	アクリル板の処分方法などが分からない。
警備業	需要過多の警備業ですが、供給する警備員となる人財の確保ができていない状況。
税理士	ウィズコロナからアフターコロナに移りつつある。経済状況も活気がでてきた。しかし人手不足が表面化しつつある。特に若い人が求められている。
社会保険労務士	マイナ保険証に関わる業務なので昨今の紐づけミス続出で不信感を持たれると辛い。
ディスプレイ業	業界自体は上向きになっているが人手不足が問題となっている。
家庭電化製品(販)	郊外型のスターバックスが、葵東にオープンした。ドライブスルーを利用するお客様も多い。

■新型コロナウイルス感染症の影響	
税理士	コロナの影響は緩和。
農産物(卸・加工)	新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰・円安の影響により以前とは経済動向が変わってきているように感じる。しばらくは不安定な状況が続くような気がする。
警備業	イベント等、スポーツ等の催しがコロナ前までにほぼ戻り、それに伴う警備業務がほぼ戻りました。
■物価高騰・円安の影響	
楽器(製)	相変わらず、物価の高騰は止まらない。一度上がったものはなかなか下がらないので、この影響は当分継続しそう。仕入れ先の変更、材質の変更など単純に価格への転嫁ではなく、いろいろな考えで対策していかないといけない。
木製品(製)	ウクライナの戦争開始時は数ヶ月資材が入手困難になったが、最近は安定している。
土木工事業	建設資材の高騰の影響が非常に大きく、倒産企業も増加傾向。(対前年同月比で40%の増加)
菓子材料(卸)	卵不足については、最悪な状況を脱して供給はされるようになった。ただし価格は非常に上がってしまった。
茶(加・小)	物価高騰で売価上げ、客単価アップで客数減が続くとみられる。
家庭電化製品(販)	物価が高騰しているために、お客様の商品購入の意欲は低い。故障しなければ、買替に繋がらない。

事業協同組合(青果)	飲食店を営んでいる。最近、原材料の高騰で値上げをしたが、客足の減少に繋がる可能性が心配である。
事業協同組合(石油)	原油価格は高止まり、円安も加わり販売価格は下がらない。
居酒屋	7月から酒類の値上げが懸念。
経営コンサルタント	原材料や電気代が高騰している
ディスプレイ業	物価（仕入れ）の高騰が止まらない。
■インボイス制度への対応	
木製家具(製)	すべての人が対応できるのか心配。
鉄材料(販)	インボイス登録業者かどうかの問い合わせが増えた。
税理士	インボイス制度の施行により、デジタル化への関心度合が高まり、業務の効率化を進めている企業が増えている。
■その他	
事業協同組合(機械)	人手不足が続いている。時給を1,200円以上にしてもハローワークその他からの求人が面接にも来ない。
社会保険労務士	「社会保険扶養範囲内での働き方」と、「賃上げ」による「働く時間短縮」の課題が大きくなってきた。
社会保険労務士	少子化対策費を社会保険料に加算して賄おうとするのはいかがなものかと思う。

以上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2023年6月期調査結果（2023年8月発表分）

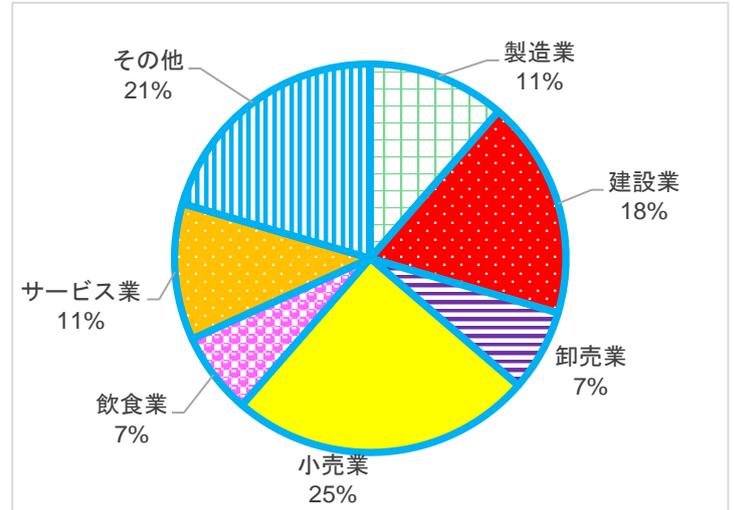
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2023年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は44名（回答率は68.7%）

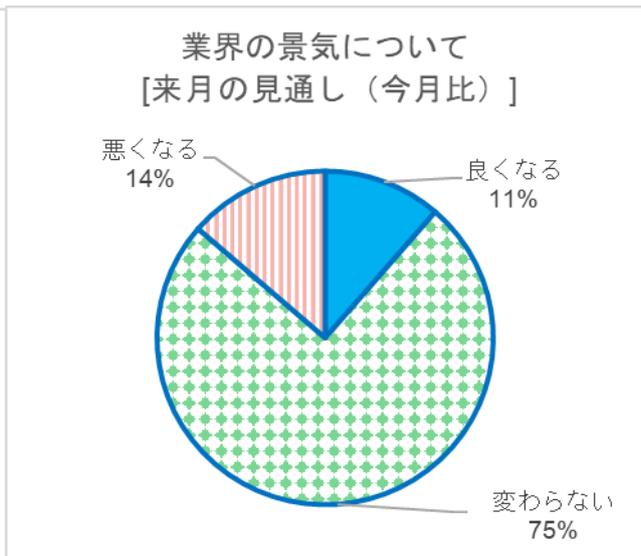
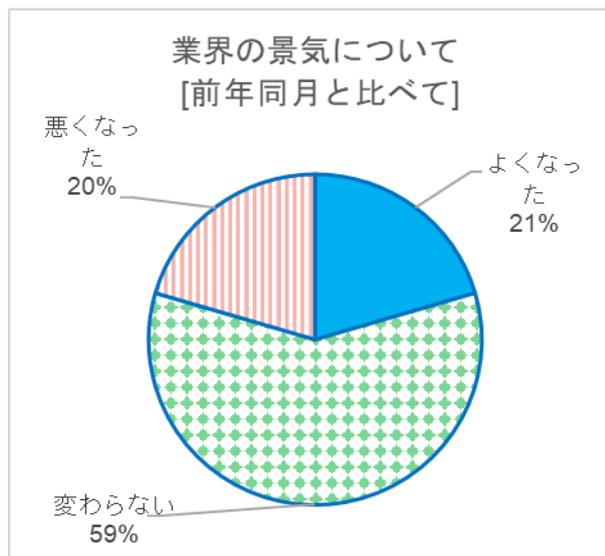
業種	回答者数	構成比
製造業	5	11.4%
建設業	8	18.2%
卸売業	3	6.8%
小売業	11	25.0%
飲食業	3	6.8%
サービス業	5	11.4%
その他	9	20.5%
計	44	100%



調査結果のポイント

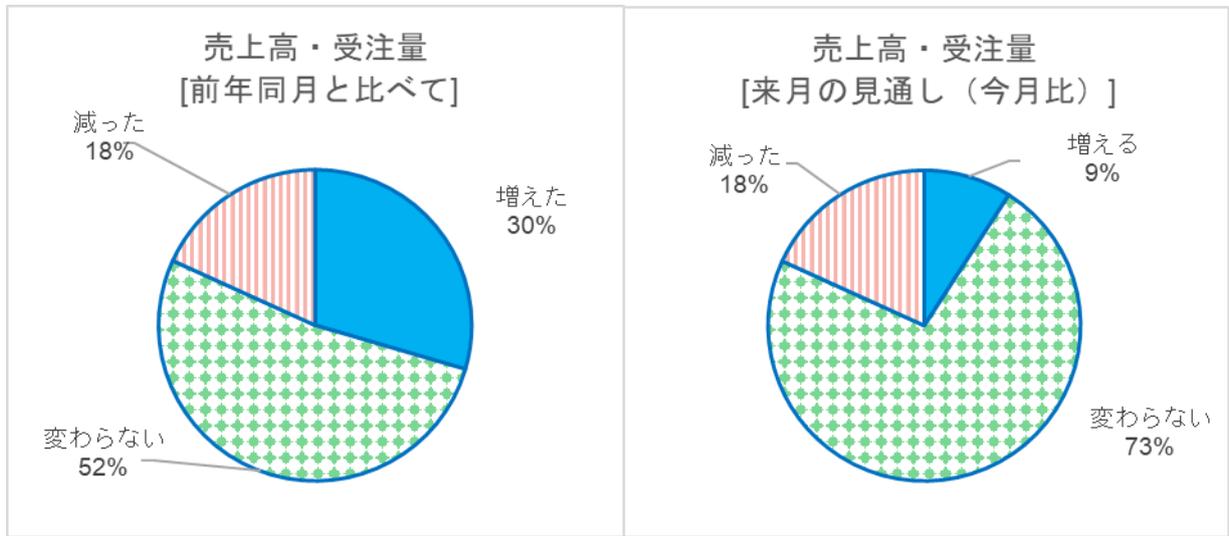
<景況>

- ・2023年6月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が20.5%、「変わらない」が59.1%、「悪くなった」が20.5%となりました。
- ・2023年7月以降の見通しについて、6月と比較して、「よくなる」が11.4%、「変わらない」が75.0%、「悪くなる」が13.6%となりました。



<売上高・受注>

- ・2023年6月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」29.5%、「変わらない」が52.3%、「減った」が18.2%となりました。
- ・2023年7月以降の見通しについて、6月と比較して、「増える」が9.1%、「変わらない」が72.7%、「減る」が18.2%となりました。



【景気動向 DI (毎月版)】

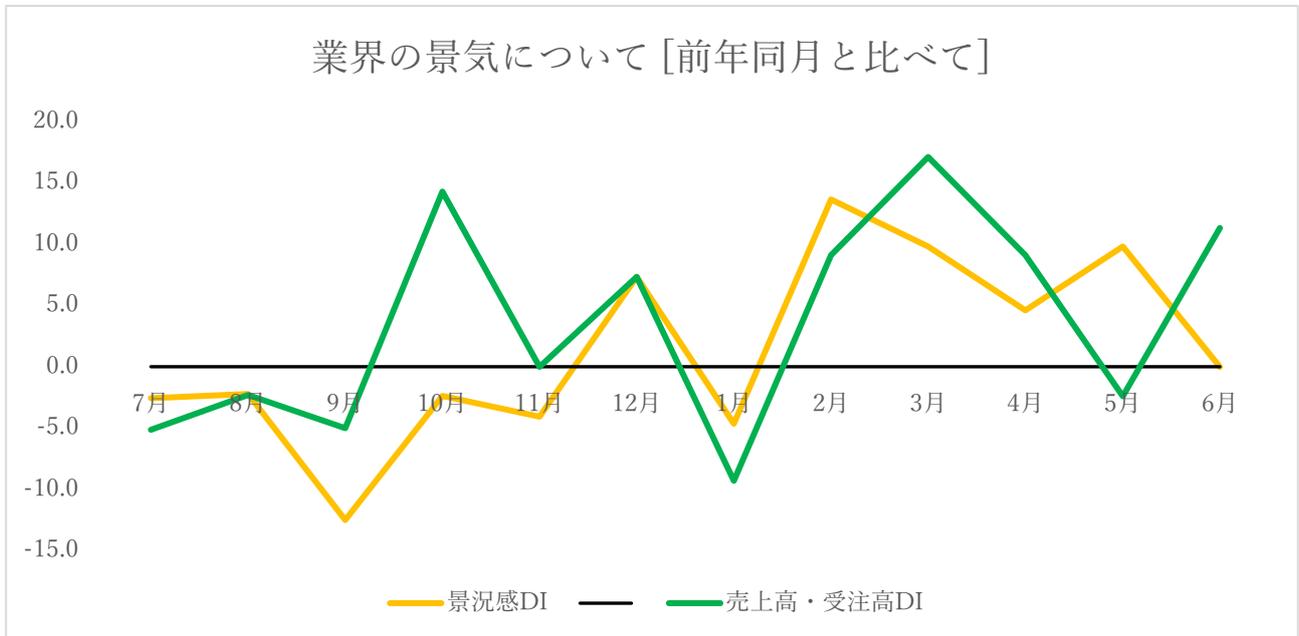
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

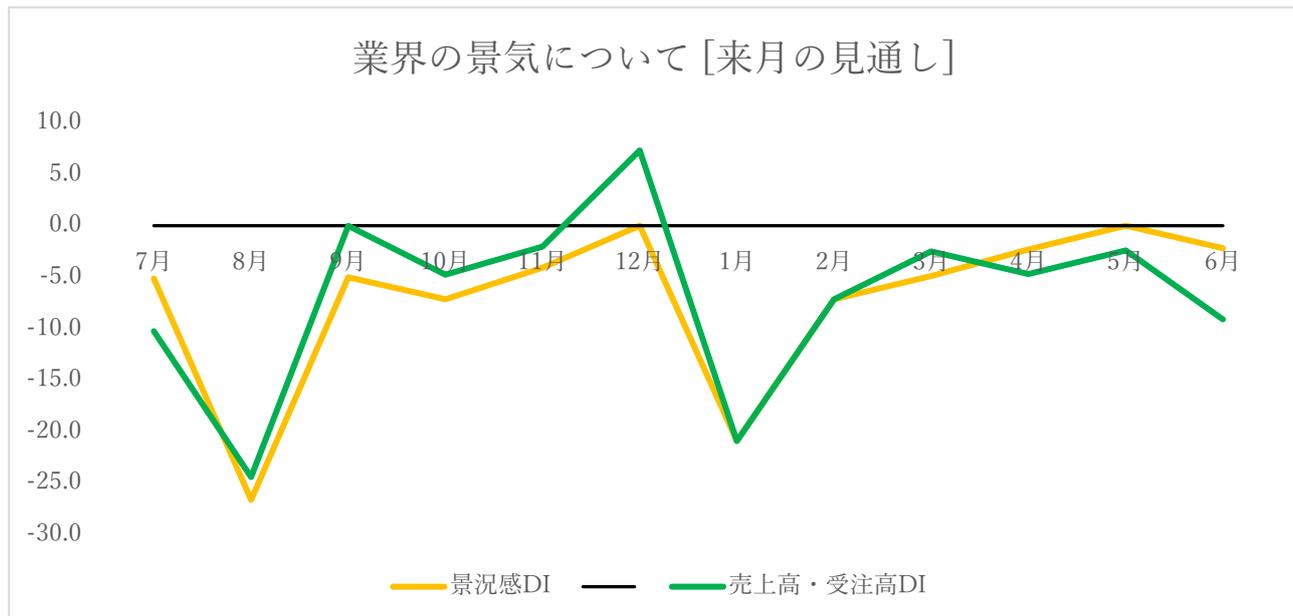
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2023年6月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
景況感DI	-2.6	-2.2	-12.5	-2.4	-4.1	7.3	-4.7	13.6	9.8	4.6	9.8	0.0
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高・受注高DI	-5.1	-2.3	-5.0	14.3	0.0	7.3	-9.3	9.1	17.1	9.1	-2.4	11.3

2023年7月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について[来月の見通し (今月比)]

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
景況感DI	-5.1	-26.7	-5.0	-7.1	-4.1	0.0	-20.9	-7.1	-4.9	-2.3	0	-2.2

売上高・受注量 来月の見通し (今月比)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高・受注高DI	-10.3	-24.4	0.0	-4.8	-2.0	7.3	-20.9	-7.1	-2.5	-4.7	-2.4	-9.1

【調査対象者のコメント】

業界区分	業界動向や地域に関する困りごと
菓子小売業 (製・小)	コロナ明けでいろいろなイベント、お祭りが開催されるようになって活気が戻ってきた。全国で人の往来があるのでお土産等も動いている。しかし円安で物価が高騰しており、自分達もその影響で仕入値が上がり、結果として商品を値上げせざるを得ない。
自動車(小・修)	近年、自動車販売の不当な価格表示が問題になっている。ネットなどで車体価格を安く掲載して、実際にお店に行くとその金額では買えない。それを受けて諸費用を含めた支払い総額の明示化を求める動きが強まっている。
ピアノ・オルガン 部品(製・卸)	仕入業者が高齢の為、廃業するケースが多くなった。
税理士	最近浜名湖近辺を回っていても、土砂崩れの箇所が見受けられる。九州地区の線状降水帯でなくてもこのような所が散見されるのは、顧客のミカン農家他斜面を活用して農業を営んでいる農家さんは、不可抗力的な要素が強いものの、自己防衛的な対策も練らなくてはいけないため、自然災害に対してすごい不安を持っている。
鋳材(卸)	機械類製造業界全体が低迷している。
自動車タイヤ(小)	運送業のお客様が2024年を待たずして廃業の選択をされた。近隣でも2社廃業されたようだ。来年を待たずして廃業の選択をされる方がまだまだ出てきて、物流コストの上昇、失業者の増加、物価の上昇など数多くの問題が噴出する。
警備業	人財を確保するために、賃上げ・雇用条件を良くするなどの取り組みをしているものの、他業種がそれ以上の取り組みを行っているため、特に賃金の高い業種に

	人財は行き、警備業での生産年齢人口の雇用が難しい状況。
税理士	売上は元に戻りつつある。どの業界も人材不足というより、人手そのものが不足にしている。特に若くて元気な人が少ない。
社会保険労務士	事務系求人には応募していただける方々は多くいるが、特定技能（溶接等）を有する求人には、市場の反応は薄い。
楽器(製)	新型コロナウイルスの影響で部品等の仕入れ先がなくなってしまうケースが増えてきている。値段が上がることに加え、仕入することも難しくなっている状況に困っている。
社会保険労務士	社労士業務ソフトのサーバーがマルウェア感染によりサービス停止になった。よりによって最も届出業務の多い時期と重なり、多くの社労士事務所の危機となったろう。
一般土木建築工事業	現場監督・職人共に人手が不足している。また、建設系学科履修学生の減少が気になり。大手企業が採用を強化しているため、学生のUターン就職を期待しにくい。
ディスプレイ業	業界的には回復してきているが、まだ見積り段階が多く、実行には至っていない案件も多い。
茶(加・小)	飲食は、「ちょっと贅沢ゾーン」が値上げの不満も少なく、安定した売上を見込みやすい。
玩具(販)	物価高騰・円安の影響で国内メーカーの値上げがまだ続いていて、全体的に購買意欲の低下に繋がっている。通販も価格競争が激しくて新規参入の大手通販業者が増えてきている。
家庭電化製品(販)	エアコン販売が昨年より悪い。
事業協同組合(機械)	インボイス制度がどのようにトラブルなく機能するか懸念がある。
事業協同組合(青果)	急な豪雨の影響で作物被害が心配である。
事業協同組合(石油)	燃料油価格激変緩和対策事業による補助金が減少することに伴い、小売価格が高くなり、販売数量に影響が出るのが危惧される。
事業協同組合(鉄)	ガソリン代電気代はまだまだ上昇する可能性がある。
木製家具(製)	物件が少なくなると、金額のタタキが始まる。
燃料(小)	燃料価格負担軽減策として、国が石油元売り会社に支給している補助金について、6月から補助の規模が縮小された影響で、灯油価格が7月より値上がりする。
建築設計業	住宅の受注が減ってきている。特に、県西部は顕著とのこと。
社会保険労務士	雇用保険の計算がいつもよりややこしいため、労働保険の年度更新申告書がちゃんと書けない、又は電子申請できないケースが多く見られるようだ。やはり年度途中で保険料率を変えるのはやめて欲しい。
物流運搬設備(製)	地区内の人と顔を合わせても仕事の話が出ない。製造業全般売り上げは下降線。
事業協同組合(鉄)	受注量は増加しつつあるが自動車関連部品（半導体が主）の調査が不安定で売り上げが減少した。
事業協同組合(鉄)	前月に引き続き浜松市の車社会の偏重、公共交通機関が不便だからマチナカの飲食もせずに帰宅する人が多い。

■新型コロナウイルス感染症の影響	
菓子小売業(製・小)	日本の観光地にも国内外の観光客が激増してコロナ以前に戻りつつある。
警備業	警備業界では、新型コロナウイルス感染症が影響する業務量低下はほぼなくなった。
事業協同組合(機械)	コロナ感染症が5類になり、製造業の影響は軽くなった。
居酒屋	コロナの影響はほぼ無くなった。
■物価高騰・円安の影響	
ピアノ・オルガン部品(製・卸)	為替レートの変動で輸入品が約30%コスト高になった。
楽器(製)	物価の高騰はなかなか収まらない。ここに来てまた円安が加速してきており、収束するにはまだまだ時間がかかりそう。せっかくの売上増加も利益を上げにくくなってしまっているため、手放しでは喜べない。
ディスプレイ業	物価高騰の他、外注の人件費も値上げ傾向が来ている。
茶(加・小)	物価高騰…合わせて売価上げ。客単価増。客数減。
木製品(製)	円安により海外の受注は増えているが、現在の様に極端だと商品の価値が下がってしまい好ましくない。
玩具(販)	物価高騰・円安の影響を理由に、国内メーカーの値上げがまだ当分続いている
事業協同組合(鍍金)	エネルギー・原材料の高騰により、収益率が、著しく悪化している。
■インボイス制度への対応	
税理士	③インボイス制度の開始まで3ヶ月を切った。制度そのものに対する認知度は高まりを感じる。現状は経理処理をどう進めていくかということにポイントが変わってきている。早め早めの対応が望まれる。
■その他	
事業協同組合(ものづくり)	①人材不足が続いており、募集をかけても集まらない。

以 上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2023年7月期調査結果（2023年9月発表分）

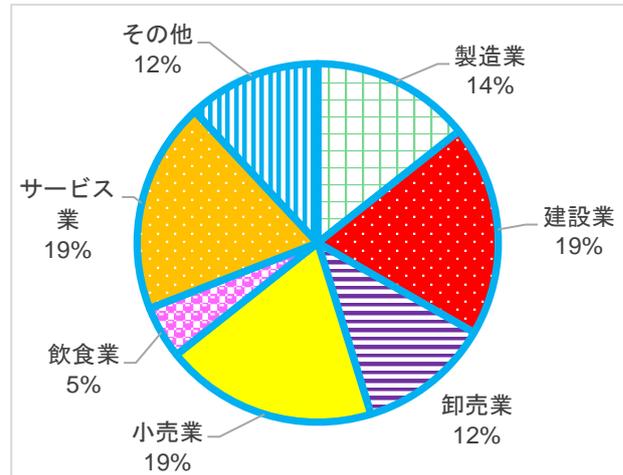
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2023年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は42名（回答率は65.6%）

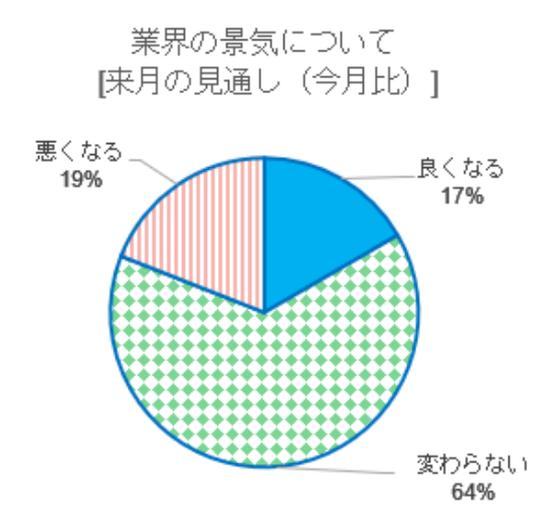
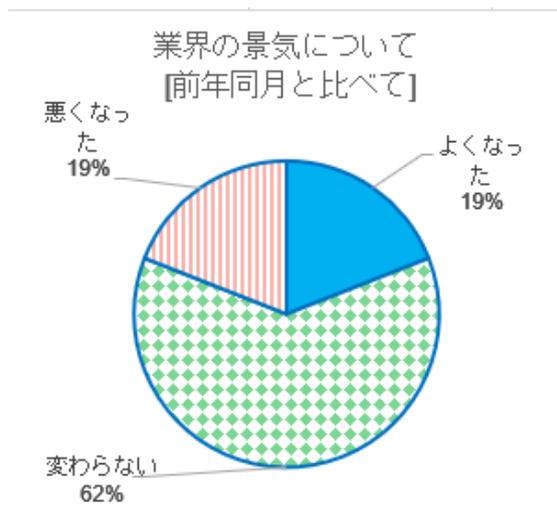
業種	回答者数	構成比
製造業	6	14.3%
建設業	8	19.0%
卸売業	5	11.9%
小売業	8	19.0%
飲食業	2	4.8%
サービス業	8	19.0%
その他	5	11.9%
計	42	100%



調査結果のポイント

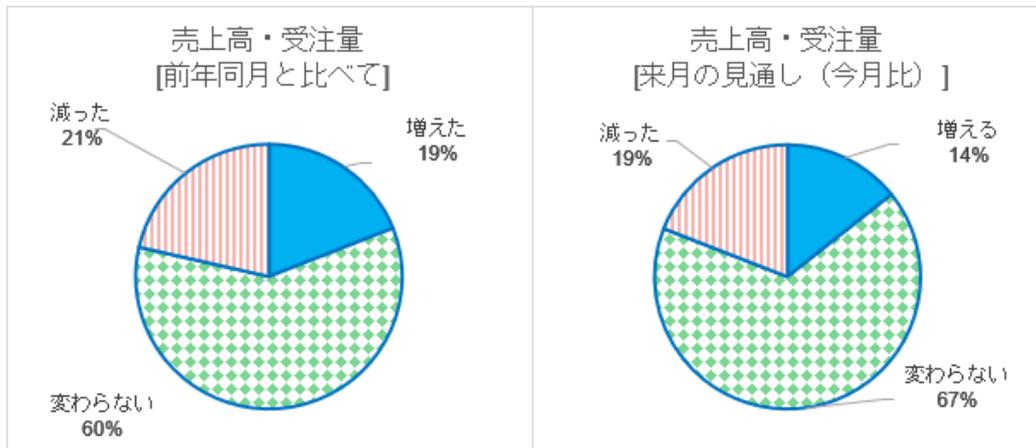
<景況>

- ・2023年7月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が19.0%、「変わらない」が61.9%、「悪くなった」が19.0%となりました。
- ・2023年8月以降の見通しについて、7月と比較して、「よくなる」が16.7%、「変わらない」が64.3%、「悪くなる」が19.0%となりました。



<売上高・受注>

- ・2023年7月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」19.0%、「変わらない」が59.5%、「減った」が21.4%となりました。
- ・2023年8月以降の見通しについて、7月と比較して、「増える」が14.3%、「変わらない」が66.7%、「減る」が19.0%となりました。



【景気動向DI (毎月版)】

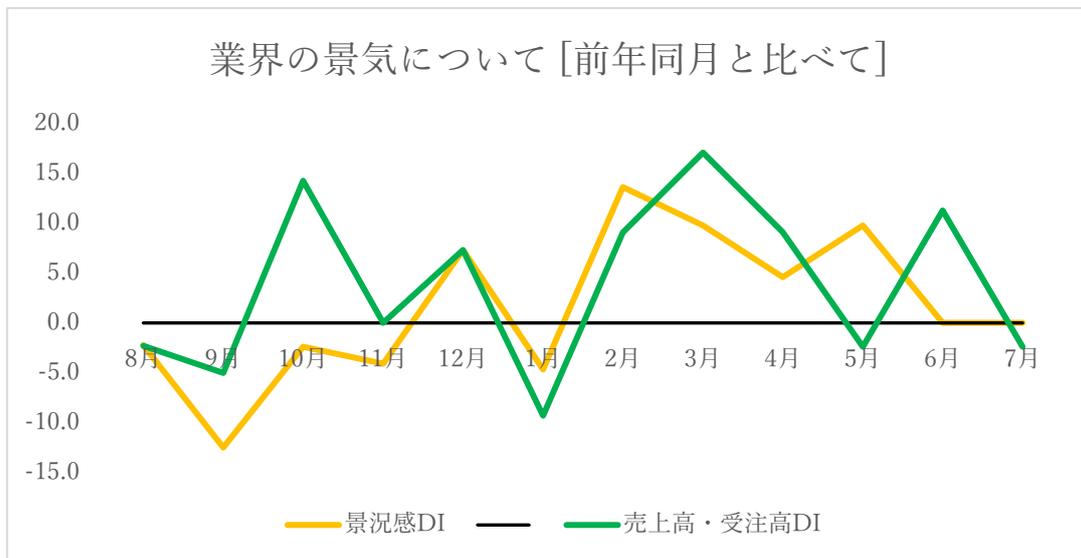
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

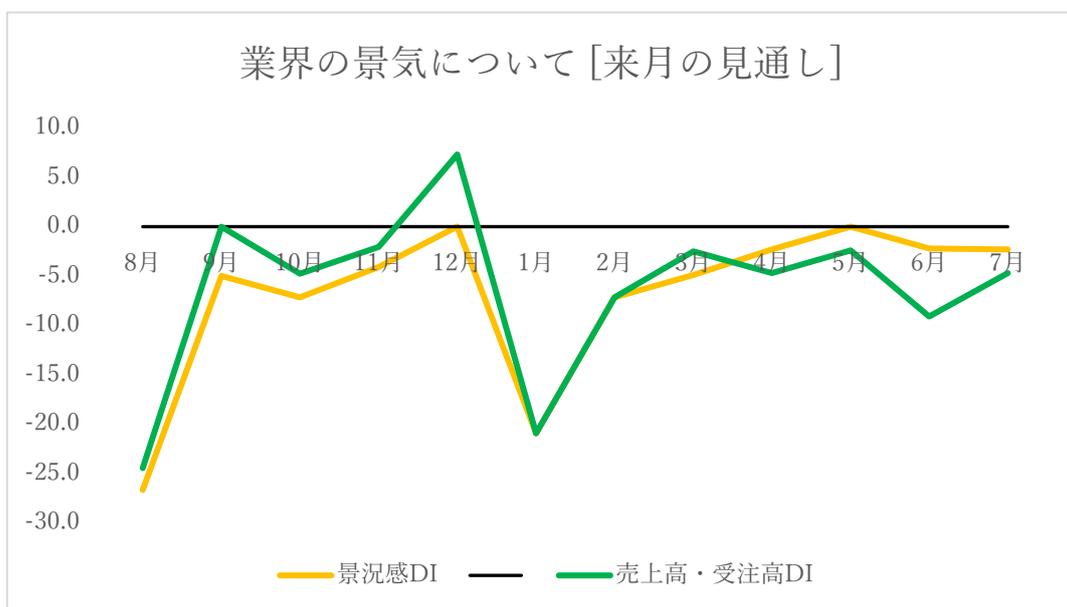
2022年7月からの景況感と売上高・受注高(前年同月比)は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
景況感DI	-2.2	-12.5	-2.4	-4.1	7.3	-4.7	13.6	9.8	4.6	9.8	0.0	0.0
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高・受注高DI	-2.3	-5.0	14.3	0.0	7.3	-9.3	9.1	17.1	9.1	-2.4	11.3	-2.4

2023年6月からの景況感と売上高・受注高(来月の見通し)は下記の通りです。

業界の景気について [来月の見通し]



業界の景気について[来月の見通し (今月比)]

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
景況感DI	-26.7	-5.0	-7.1	-4.1	0.0	-20.9	-7.1	-4.9	-2.3	0	-2.2	-2.3
売上高・受注量 来月の見通し (今月比)												
売上高・受注高DI	-24.4	0.0	-4.8	-2.0	7.3	-20.9	-7.1	-2.5	-4.7	-2.4	-9.1	-4.7

【調査対象者のコメント】

業界区分	業界動向や地域に関する困りごと
楽器(製)	他の業界でも同じことだと思うが、物価の高騰による影響が大きい。一度上がるとなかなか下がらないように思えるし、物価高騰による仕入れ先の廃業等が多く、困ることが多い。
木製家具(製)	建設業界の倒産が多く、この先の融資に影響ないか心配である。
事業協同組合(鉄)	ガソリン代がいつまで高止まりするのか不安である。2類から5類になり飲食を伴う会が増えた。
事業協同組合(鍍金)	エネルギー・原材料の高騰により、著しく収益率が悪化している。
土木工事業	少子高齢化による人手不足、担い手不足。
電気配線工事業	住宅着工件数が減っている。ガソリン値上げによる今後の心配である。
サッシ・ドア(製)	連日の猛暑は特に火を扱うような弊社では、命の危険を感じる。暑さ対策の公的補助があると助かるのだが…
建築設計業	住宅の受注難は継続している傾向にあるが、市内ゼネコン系企業は現場監督の人手不足の話を多く聞かれる。浜松市の設計業務委託の案件も発注数、発注金額も増加傾向に感じる。
鋳材(卸)	国内機械製造業者の受注減
ピアノ・オルガン部品(製・卸)	業界では弊社を含めて値上げラッシュなのでお客様の購買活動が鈍くなっている。
菓子材料(卸)	卵不足は一旦解消された。また秋に鳥インフルエンザが広まらないことを祈る。
自動車(小・修)	自動車業界は保険金不正受給問題で持ちきり。お客様に分からない部分があるのは確かなので、小さくてもより誠実に仕事をして、お客様の信頼を勝ち得ている業者さんが多くいるにも関わらず、このような業界全体のイメージダウンは辛い。

茶(加・小)	お客様も生産側も、ちょっと贅沢なのか、量産でお値打ちなのか、二極化が進む。
事業協同組合(青果)	暑さでお客さんが来ないという話がよく出る。品物の痛みも早いので廃棄が心配。
事業協同組合(石油)	9月末までガソリン等の販売単価が上昇し続けるため、売上が減少する恐れがある。
燃料(小)	エネルギー価格の高騰による対策として、電気・都市ガス料金の負担緩和策がとられたが、LPガスは対象外となり問題視されていた。 しかしこの度、LPガス消費者を対象にガス料金の値引きによる負担軽減策が実施されることになった。LPガス販売事業者の事務負担は増えるが、消費者にとって有益であり、ありがたい政策である。
祭用品(小)	業界的には2極化が進んでいる状態。
警備業	静岡市内の橋桁落下事故の影響により、橋桁工事を始め、多くの現場で安全対策の見直し、作業手順の見直しが実施された。
税理士	売上も少しずつ向上している。しかし人手不足は定常的になりつつある。特に若手労働者を欲しがっている。
税理士	業種問わず人手不足を感じる。求人しても応募が少ない。傾向として人材紹介業者を利用する会社が増加している。
社会保険労務士	ランサムウェア被害は終息したが、しばらくは情報漏洩の心配があり、完全に元通りとはいかないだろう。
ディスプレイ業	イベント関連業界は街中での週末イベント開催が多くみられたが、来場者が想像以上に伸びないとの声も同様に多くみられる。
事業協同組合(ものづくり)	人材不足が続き、求人を出しても人が集まらない。
実業団体(税務)	インボイス制度、電子帳簿保存法の会員への周知が大変。

①新型コロナウイルス感染症の影響 ②物価高騰・円安の影響	
③インボイス制度への対応 ④その他	
土木工事業	①新型コロナウイルスへの感染がより身近になった感覚がある。 ②物価高騰・円安の影響はあいかわらず高まっている。
ピアノ・オルガン部品(製・卸)	①周りの得意先でもコロナに感染しているので社員が心配している。 ②相変わらずの円安で輸入品のコストが上がり続けている。 ③インボイス制度などの本格対応に時間を費やしているが、中々完成しないので焦っている。
ディスプレイ業	①静岡県内にまたコロナ感染者が急増しているようで、お盆明け以降が心配です。 ②また今年の10月にまた最賃が上がるのか？ きになるところです。
菓子材料(卸)	①ホテルの宿泊、宴会はだいぶ戻ったようだが、ブライダルは厳しいままのようだ。 ②価格高騰は続いています。お菓子、パンの最終商品の価格も上がっていますが、そろそろ限界を感じます。
楽器(製)	①新型コロナウイルスの影響についてはほぼなくなったように思える。ただ、取引先等において職員が新型コロナウイルスに感染したという話は聞くので、収まってはいないと感じる。
一般土木建築工事業	②依然として資材価格は高止まり又は上昇傾向。

木製家具(製)	②物価の高騰についていけない！ インボイスについて、わからないことが多く不安である！
鑄材(卸)	②物価高騰による製造業の受注減。
農産物(卸・加工)	②物価高騰による値上げの影響が直接的にも間接的にも経営に影響が出ている。特に取引先飲食店がメニューを値上げした事により客離れが起き、注文が激減している。
茶(加・小)	②物価高騰により、物も食も買い控えや厳選されるお客様がほとんど。
事業協同組合(鉄)	②工作機械の受注が1月～6月まで6ヶ月連続でマイナス。団地内企業の受注状況も低調。設備投資が上向きという割に工作機械は伸びてこない
警備業	②物価高騰・円安の影響：物価高騰のため、契約済みの仕事でも単価交渉を行うことが増えました。
社会保険労務士	②物価高騰に加え10月からの最賃アップとインボイス開始で三重苦となる個人事業・中小零細企業の廃業が心配される。
実業団体(税務)	②物価高の影響による経費の増加。
祭用品(小)	②コロナの影響は緩和されたが物価高騰による原価率上昇が大きなダメージ
税理士	③インボイス制度への対応が急ピッチで進んでいる。公共交通機関や出張旅費等の特例などについては全社的な理解が求められる。
物流運搬設備(製)	④地区内：アフターコロナといわれるようになったが、何をもってアフターコロナとなるのかがよく分からない。近年松菱跡地が再活用され始めたため、街中にも賑わいが戻りそうな気がするが、もっと早く何かしらの再活用ができなかったものかとも思う。
電気配線工事業	④猛暑による暑さ対策に苦労している。取引先の農家で農作物に影響がでている。
税理士	④企業においても雇用者の給与を1.5%増加することにより税務上の恩典を受けられませんが、その余力に乏しいのが実情です。
社会保険労務士	④今年度の最低賃金の変更（アップ）した場合、パート従業員の勤務時間調整への不安を感じている。
事業協同組合(ものづくり)	④各国の金融政策による為替や国内株式市場への影響。

以上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2023年8月期調査結果（2023年10月発表分）

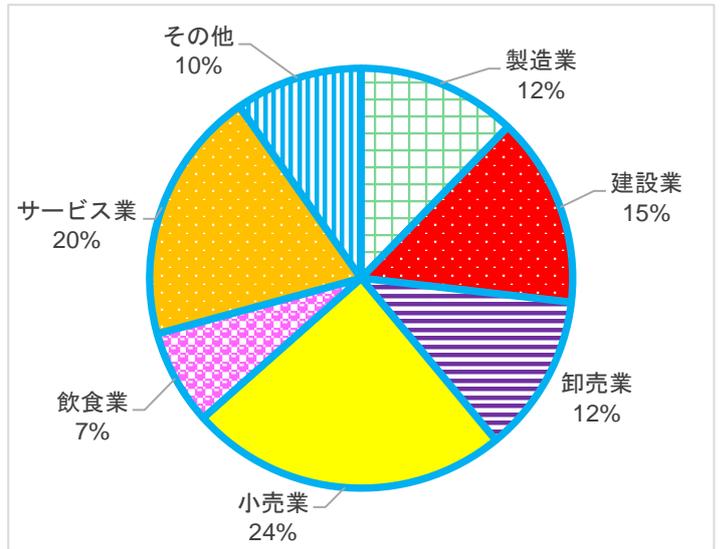
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2023年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は41名（回答率は64.0%）

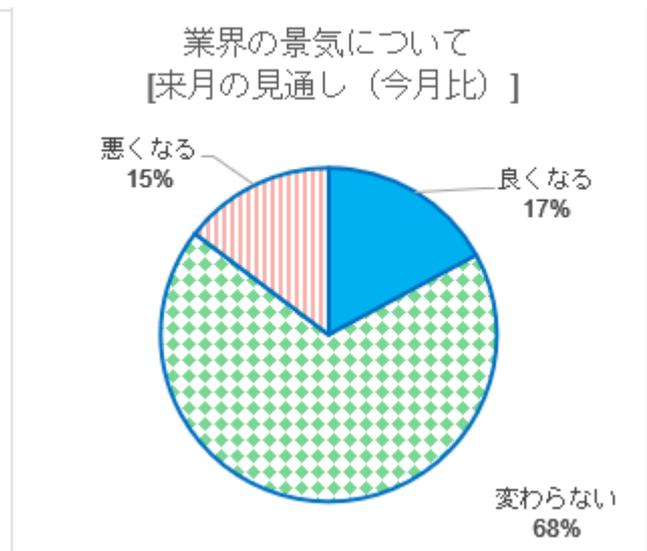
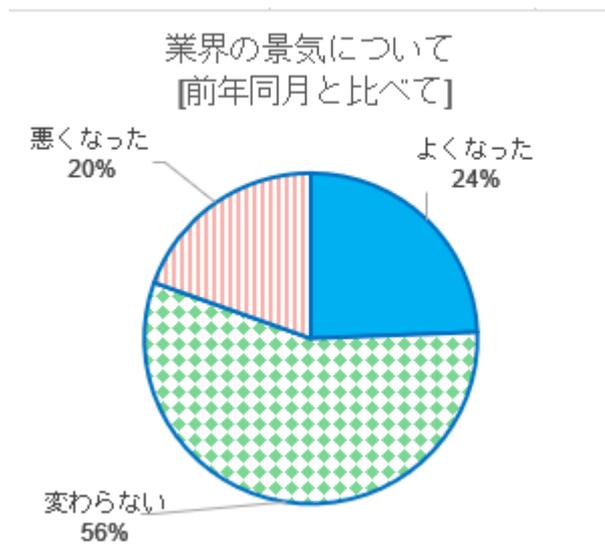
業種	回答者数	構成比
製造業	5	12.2%
建設業	6	14.6%
卸売業	5	12.2%
小売業	10	24.4%
飲食業	3	7.3%
サービス業	8	19.5%
その他	4	9.8%
計	41	100%



調査結果のポイント

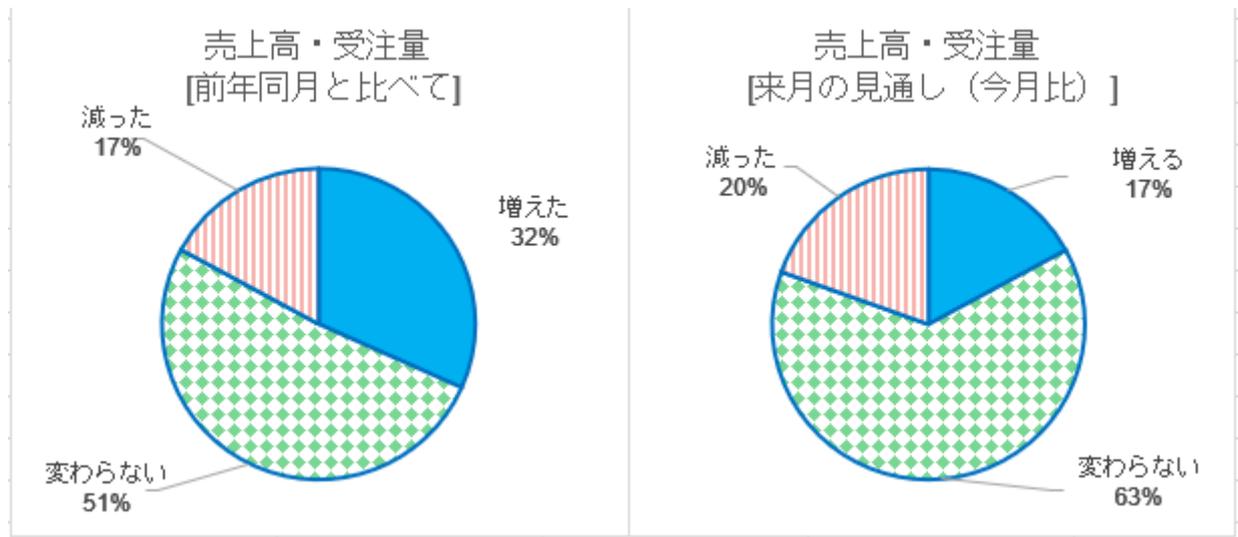
<景況>

- ・2023年8月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が24.4%、「変わらない」が56.1%、「悪くなった」が19.5%となりました。
- ・2023年9月以降の見通しについて、8月と比較して、「よくなる」が17.1%、「変わらない」が68.3%、「悪くなる」が14.6%となりました。



<売上高・受注>

- ・2023年8月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」31.7%、「変わらない」が51.2%、「減った」が17.1%となりました。
- ・2023年9月以降の見通しについて、8月と比較して、「増える」が17.1%、「変わらない」が63.4%、「減る」が19.5%となりました。



【景気動向 DI (毎月版)】

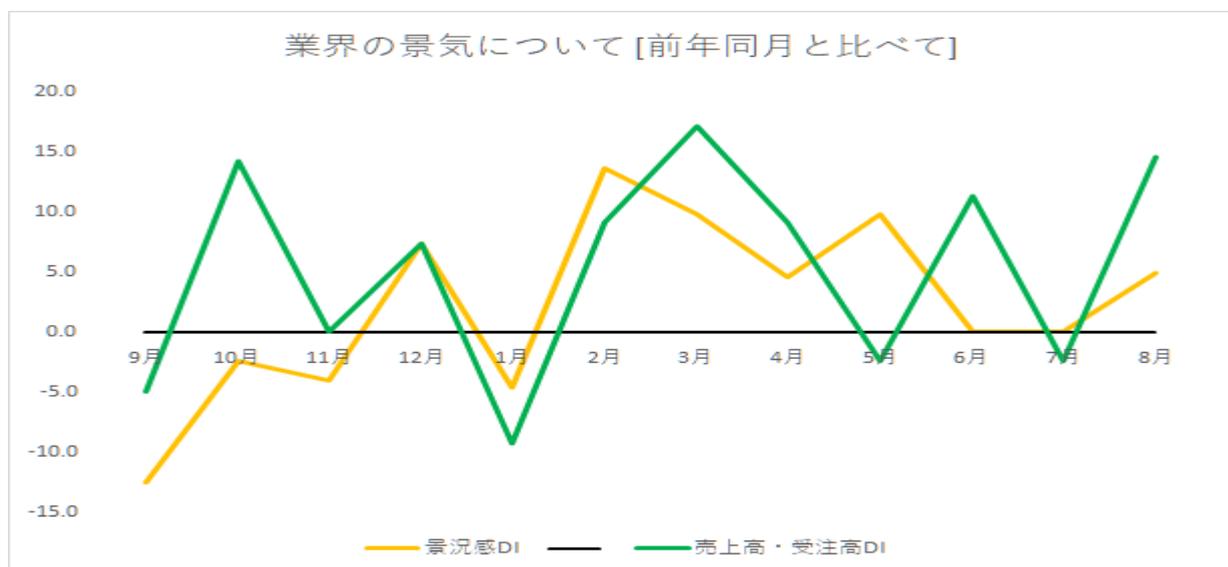
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

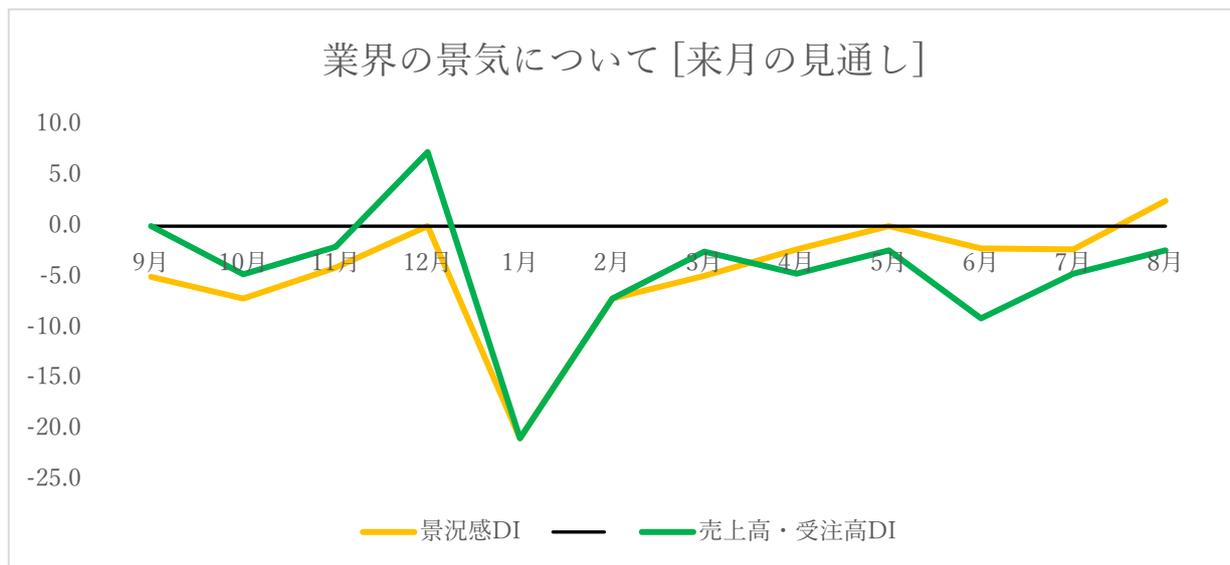
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2022年9月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
景況感DI	-12.5	-2.4	-4.1	7.3	-4.7	13.6	9.8	4.6	9.8	0.0	0.0	4.9
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高・受注高DI	-5.0	14.3	0.0	7.3	-9.3	9.1	17.1	9.1	-2.4	11.3	-2.4	14.6

2023年9月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について[来月の見通し] (今月比)												
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
景況感DI	-5.0	-7.1	-4.1	0.0	-20.9	-7.1	-4.9	-2.3	0	-2.2	-2.3	2.5
売上高・受注量 来月の見通し (今月比)												
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高・受注高DI	0.0	-4.8	-2.0	7.3	-20.9	-7.1	-2.5	-4.7	-2.4	-9.1	-4.7	-2.4

【調査対象者のコメント】

業界区分	業界動向や地域に関する困りごと
自動車(小・修)	自動車業界は保険金不正受給問題によるイメージダウンが影響しているのか、お客様の動きが鈍くなっている気がする。
乾物(卸)	連日の猛暑で日中出歩く人が少ないため、客足も鈍い。
ピアノ・オルガン 部品(製・卸)	メーカーの売行きが低調なので卸も低調である。
税理士	IT関連業のため取引先からの環境対応へのニーズは増加。
自動車タイヤ(小)	昨年の2回の値上げで、お客様が先買いをしてしまった形となり、今年の値上げ、原油価格の上昇は企業にとっては死活問題で、今期は非常に厳しい状況が予想される。
印鑑(製・販)	静岡県印章業協同組合組合浜松支部として、来年1月1日からの区再編にともなう住所変更による、早めの住所変更のゴム印作成の広告を中日ショッパー9月8日号に掲出した。
鉄材料(販)	特にコロナ禍からの回復は感じられない。
警備業	人材確保が難しいため、警備業務にAIを活用するための研究・開発が本格化してきた。
楽器(製)	新型コロナウイルスの感染者が周りにも増えてきており、得意先等で感染したという話をかなり聞くようになってきている。業務等に影響はあまり出ていないが、また爆発的に増えるようになると心配。
社会保険労務士	幾つかの研修会がオンラインから会場に戻ったため、参加するのが億劫になっている。
ディスプレイ業	展示会、講演会などのイベント案件が増えてきたが、ここに来てコロナ感染が拡大しており、行事を見送る主催者も出始めた。

電気配線工事業	仕事がコンスタントに有ることが最も良いことだが、現状は仕事にムラがある。
茶(加・小)	飲食は全体的に値上がりの認識もお客様にあり、値上がっていても特に嫌な顔もされなくなってきた印象。
木製家具(製)	電気料金やその他値上げで消費が控えられる中で、大きな買い物である住宅の販売も落ちていかないか心配。
玩具(販)	玩具業界は原材料や輸送費の高騰により、さらに値上げが予想される。特に海外製品は、価格変動が大きくなる可能性があり、取り扱うのが難しい。 コロナ後、趣味を楽しみたいという需要は高まっているが、物価高騰や経済状況の悪化により、家計が圧迫されているので売れ行きは悪くなると思われる。大規模な店舗は集客力や品揃えなどの面で優位に立つが、小規模店舗は来月も厳しい状況に直面することが予想される。
司法書士	相続登記の義務化の相談が増加した。
事業協同組合(青果)	ガソリン高騰など物価の上昇による経費負担が心配である。
事業協同組合(石油)	燃料油価格激変緩和措置対策事業が12月末まで継続・拡充されることとなり、販売価格を下げることができつつあるが、円安・原油高が続くと今後も厳しい状況が想定される。
燃料(小)	静岡県LPガス料金高騰対策緊急支援事業について、当社は8月より値引きを開始した。使用量に関係なく一軒あたり一律最大3,000円という支援方法については、公平性という観点から疑問が残るが、お客様の反応は概ね好評である。

①新型コロナウイルス感染症の影響 ②物価高騰・円安の影響 ③インボイス制度への対応 ④その他	
茶(加・小)	①飲食の感染症の不安がとても現象して、客数も増え始めた。
ピアノ・オルガン 部品(製・卸)	②円安で材料費がいまだに高騰しているため販売価格が追いつかない。
警備業	②燃料高騰が既存の契約に転嫁できず、利益を薄める原因となっている会社が多いようだ。
楽器(製)	②物価の高騰、円安の影響により利益を確保するのが依然として大変。ガソリンも高騰が続いており、これらの問題が解決する見通しも立っていないように思える。何とかしてほしい。
木製品(製)	②円安により輸入材が値上げされた。
木製家具(製)	②ベニヤなど材料の高騰は一旦落ち着いたが、材木はウクライナ紛争の影響でロシアの材木が入らず入荷が安定しない。
事業協同組合(ものづくり)	②燃料費の高止まりは続いている。
事業協同組合(鍍金)	②エネルギー・原材料高で著しく収益率が悪化している。
農産物(卸・加工)	②物価高騰の影響で、当社が販売する高額商品であり嗜好品のメロンの注文が減少している。
菓子材料(卸)	②物価高騰、エネルギー価格高騰、人件費高騰、ゼロゼロ融資の返済、インボイスの開始などの影響が心配。倒産や廃業が増えてしまうのではないかと。

自動車タイヤ(小)	③インボイス制度スタートまで2か月を切り、準備はしているが、恐らく10月になってから色々な問題が出てくると思う。電子帳簿保存と合わせて、事務の手間がより一層増えて大変。もっと景気を良くする政策を繰り広げてほしい。
税理士	③インボイスの届け出をした人が取り消したいという人の相談が増えた。
税理士	③インボイス制度が開始となる10月に続き、12月末で電子帳簿保存法の宥恕措置が期限を迎える。今後加速度的に書類の電子化が進むと言われており、対応が遅れる企業には取引先との関係にも支障がでてくることが予想される。
ディスプレイ業	③10月よりのインボイス制度を取引先に確認する中で、個人事業主において理解不足の方が多くみられているため、セミナー等に参加するよう勧めている。また最低賃金が上がることが決定し非常に苦しい。パート社員は必然的に時給が上がるが、正社員は据え置きとならざるを得ない状況で、正社員とパートの賃金差が縮まり経営側としては非常に心苦しい。
事業協同組合 (機械)	③インボイス制度が迷走しているのではないか。
税理士	④電子帳簿保存法への関心が少しづつ高まっている。
社会保険労務士	④最低賃金の変更により、扶養内で勤務を希望しているパート従業員の労働時間が短くなる可能性があり、急遽にパート従業員の求人をしている。
社会保険労務士	④建設業者・運送業者から来年4月からの残業時間上限規制について問われることが増えてきた。

以上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2023年9月期調査結果（2023年11月発表分）

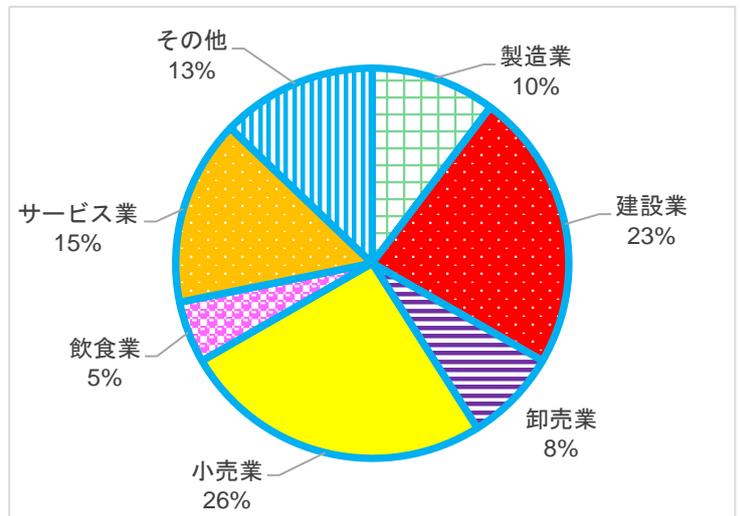
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2023年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は39名（回答率は60.9%）

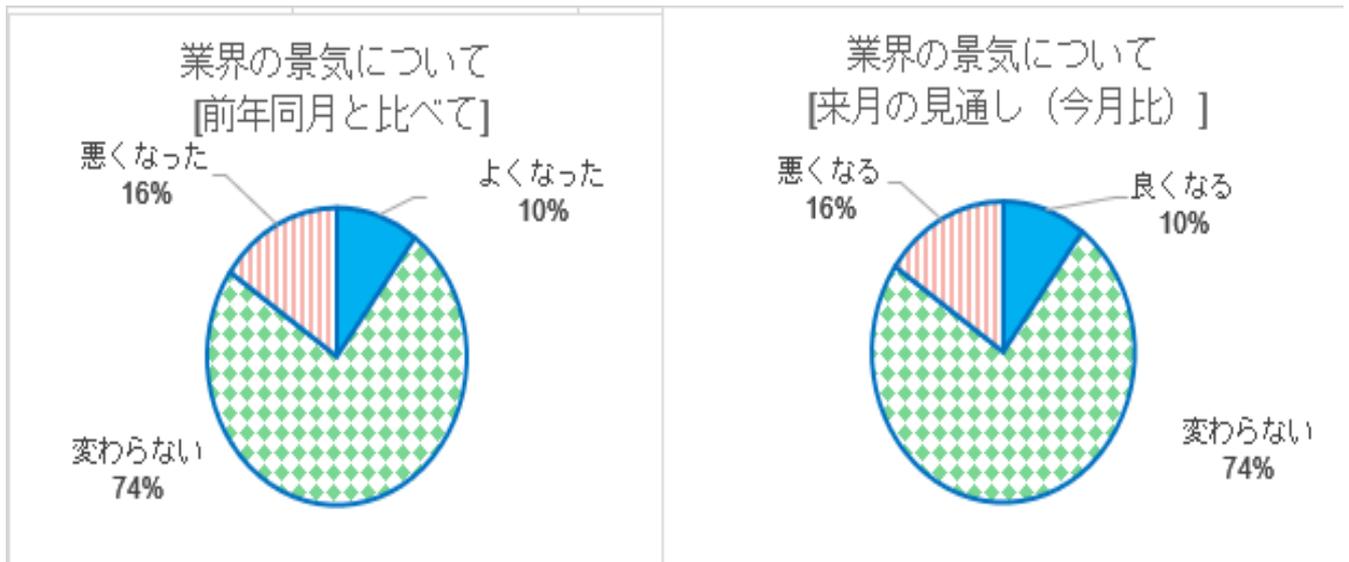
業種	回答者数	構成比
製造業	4	10.3%
建設業	9	23.1%
卸売業	3	7.7%
小売業	10	25.6%
飲食業	2	5.1%
サービス業	6	15.4%
その他	5	12.8%
計	39	100%



調査結果のポイント

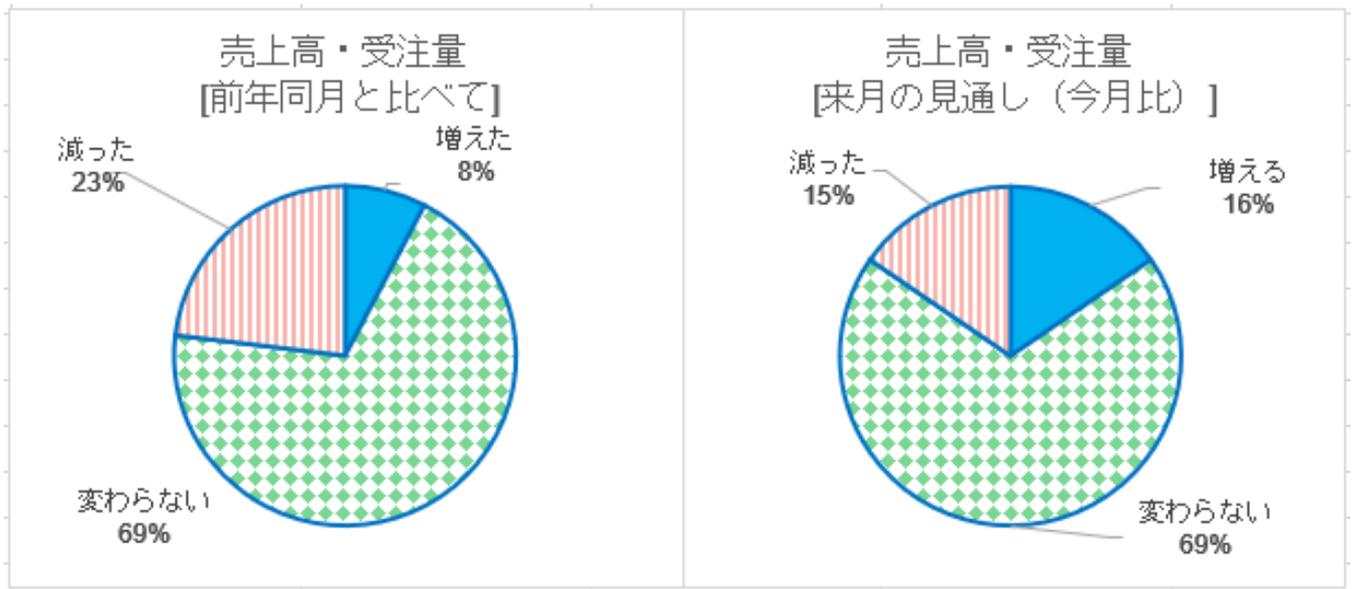
<景況>

- ・2023年9月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が10.3%、「変わらない」が74.4%、「悪くなった」が15.4%となりました。
- ・2023年10月以降の見通しについて、9月と比較して、「よくなる」が10.3%、「変わらない」が74.4%、「悪くなる」が15.4%となりました。



<売上高・受注>

- ・2023年9月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」7.7%、「変わらない」が69.2%、「減った」が23.1%となりました。
- ・2023年10月以降の見通しについて、9月と比較して、「増える」が15.4%、「変わらない」が69.2%、「減る」が15.4%となりました。



【景気動向 DI (毎月版)】

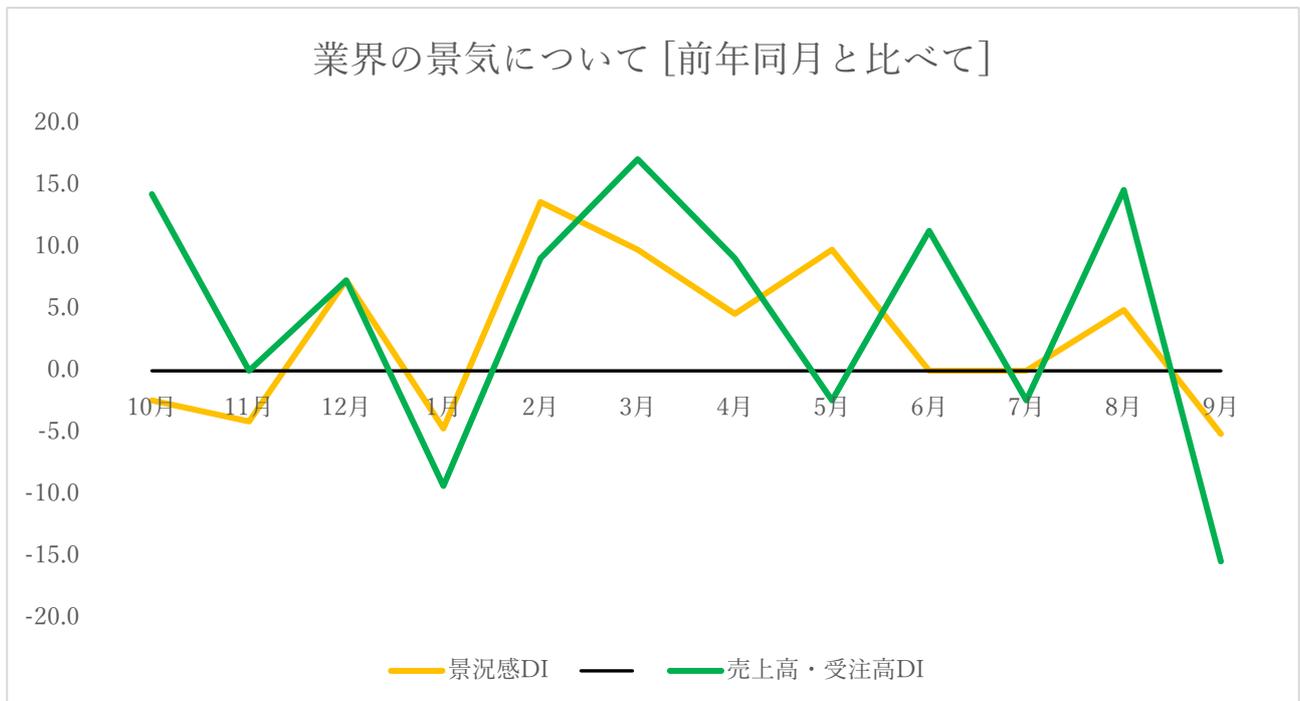
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2022年10月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



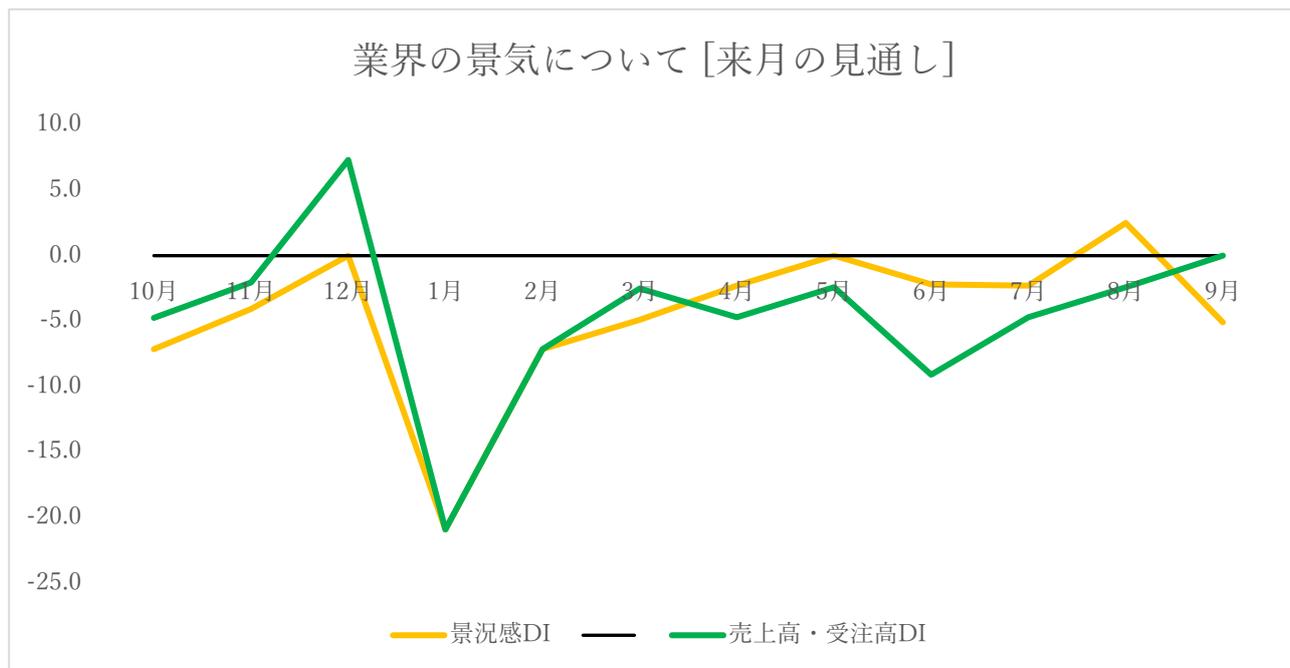
業界の景気について [前年同月と比べて]

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
景況感DI	-2.4	-4.1	7.3	-4.7	13.6	9.8	4.6	9.8	0.0	0.0	4.9	-5.1

売上高・受注量 [前年同月と比べて]

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高・受注高DI	14.3	0.0	7.3	-9.3	9.1	17.1	9.1	-2.4	11.3	-2.4	14.6	-15.4

2022年10月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について[来月の見通し（今月比）]												
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
景況感DI	-7.1	-4.1	0.0	-20.9	-7.1	-4.9	-2.3	0	-2.2	-2.3	2.5	-5.1
売上高・受注量 来月の見通し（今月比）												
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高・受注高DI	-4.8	-2.0	7.3	-20.9	-7.1	-2.5	-4.7	-2.4	-9.1	-4.7	-2.4	0

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
自動車(小・修)	インボイスや総額表示など、本業以外で対応に追われる事が多くて困る。
建築工事業	市街化調整区域にも関わらず、元農地に住宅が新築されている一方で、空き家や空地（住宅跡地）が見られるようになった。
铸材(卸)	工作機械、木工機械などの製造機の生産は低迷している。
税理士	物価高が転嫁しきれない。
自動車タイヤ(小)	10月からのタイヤ価格の改定は無かったので良かったが、お客様がギリギリの状態で作ってらっしゃるのが手に取るように分かるので、皆がちゃんと働けばちゃんと儲かるような国にならないかなと切に思う。
印鑑(製・販)	10月からのインボイス開始に伴う、登録番号のゴム印、Xスタンプの受注が増えた。Xスタンプは、メーカーに受注が集中し、かなり遅れている。また区再編に伴う住所ゴム印の受注が少しずつ増えてきている。直近になると納期遅れが出てくるので、早めに発注をお願いします。
警備業	多くの警備会社は、10月の最低賃金上昇以前から元請会社との契約単価上昇の交渉を行っており、多くの元請会社に受け入れられているようだ。
社会保険労務士	「年収の壁」への当面の対策案について、問い合わせが増加している。
楽器(製)	先月に比べて少し落ち着いてしまっている。
社会保険労務士	年末が近づくと「年収の壁」の相談が見込まれるが、先の先まで考慮すると一時的な策には太鼓判が押せないのが本音だ。
経営コンサルタント	全国でインバウンドの客が増えているが、浜松には影響が少ない。

ディスプレイ業	インボイスを理解していない取引先もあり、注意が必要。
電気配線工事業	仕事の受注分はあるが、対応していくうえでの人手不足が心配。
茶(加・小)	あまり売れない商品は終了し、経理は請求書等メールに変更している。
木製家具(製)	年末にむけて、受注が減っている。
司法書士	相続の相談が多くなった。
家庭電化製品(販)	R5年10月1日より、石綿事前調査 報告制度(※)がスタートしましたが、調査制度を理解している販売店は少ない。研修会が必要と思われる。 ※建築物・工作物・船舶の解体・改修工事の際に義務付けられている、事前調査結果の行政機関への報告。
総合建設業	人手不足。民間の設備投資が減少している。
同業団体(商業)	インボイス制度がよく分からないままスタートしてしまった。
事業協同組合(石油)	燃料油価格激変緩和対策事業による補助が年末まで延長・拡充されたことにより、ガソリン等の販売価格が低下し市況も安定してきたが、今後の動向がどうなるか非常に心配である。
事業協同組合(機械)	利益を出せる企業体質へ試行錯誤を重ねているのが現状。
事業協同組合(ものづくり)	製造業下請企業で設備更新など投資を抑えていることが、今後の受注に影響してくるのではないかと心配だが、材料等の価格上昇や人件費の増加でなかなか投資ができていない企業が多い。
菓子材料(卸)	値上がが続いているが、これから乳価も大幅に上がる。洋菓子のメイン商材が上がることで、どこまでお菓子の価格の上昇が許容されるのか心配。
木製家具(製)	木材の仕入れは落ち着いてきている。
燃料(小)	イスラエル・ガザ紛争で原油価格への懸念が高まっている。ウクライナ情勢・円安も好転の兆しは見えず、ガス価格高騰の不安材料があまりにも多い。
建築設計業	県内全般に、設備系の設計事務所の高齢化が進み、個人事務所では今後、高齢による廃業の可能性が高くなりつつある。設備設計事務所が少なくなると、統括である建築設計事務所が設備図の依頼先が無いために受注難になることが考えられる。

①新型コロナウイルス感染症の影響 ②物価高騰・円安の影響	
③インボイス制度への対応 ④その他	
鋳材(卸)	②物価高騰、円安の影響がしばらくは続くので、景気は変わらないと思う。
税理士	③インボイスによる事務負担が増えた。
鉄材料(販)	③インボイスの登録業者になったかどうかを何度か聞かれた。
楽器(製)	②物価高騰も円安も止まらないため、せっかくの売上も利益を圧迫している。インバウンド需要も中国の問題もあり、あまりパツとしない。
社会保険労務士	③領収書の登録番号記載はゴム印で対応している。僅かな事務負担軽減ではあるのだが、煩わしい気持ちの軽減度合いは大きい。
ディスプレイ業	②③今月よりインボイスの開始、最賃の値上げがあり、今後の情勢が気になります。
電気配線工事業	③インボイス制度・電子帳簿等保存法について取引先の対応が心配。

茶(加・小)	②卸売、ホテルが4年前ほどではないが動き始めた。また、値上げした事で卸先が他に乗り換えをされた。
木製家具(製)	②物価高騰が悪影響している。安いものなら少しがんばれば買えるが、値段の張るものは手が出ない・買え控えが増えるみたいだ。 ③インボイスがはじまるが、とまどいとわからないことが多いと聞く。何回もやり直しは負担がおおきい。
家庭電化製品(販)	③当社の取引先は、事前準備が完了しているので、問題はない。3年間の優遇制度終了後の一人親方の対応の検討が必要。
事業協同組合(機械)	②エネルギー、材料高、賃金を始めとする諸物価高騰。
実業団体(税務)	③インボイス制度がスタートし、記帳要件など問合せが増えてきている。
事業協同組合(鍍金)	②エネルギー・資材の高騰により、収益率が著しく悪化。
菓子材料(卸)	③インボイスについて、直前になってやる事が明確になってきて、業務が煩雑になることに非常に危機感を覚えている。そもそも軽減税率も反対ですが、生産性向上が至上命題の中で、生産性を下げる制度は本当にやめてもらいたい。
木製家具(製)	③インボイスの対応は特に振込手数料の件で苦勞している。

以 上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2023年10月期調査結果（2023年12月発表分）

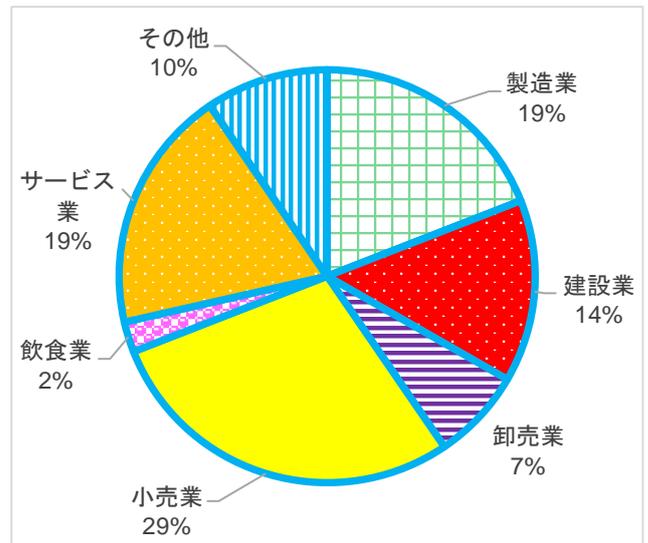
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2023年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は42名（回答率は65.6%）

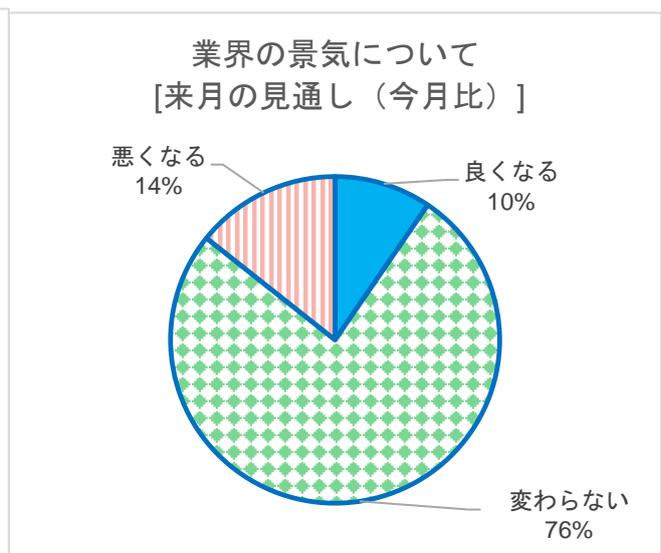
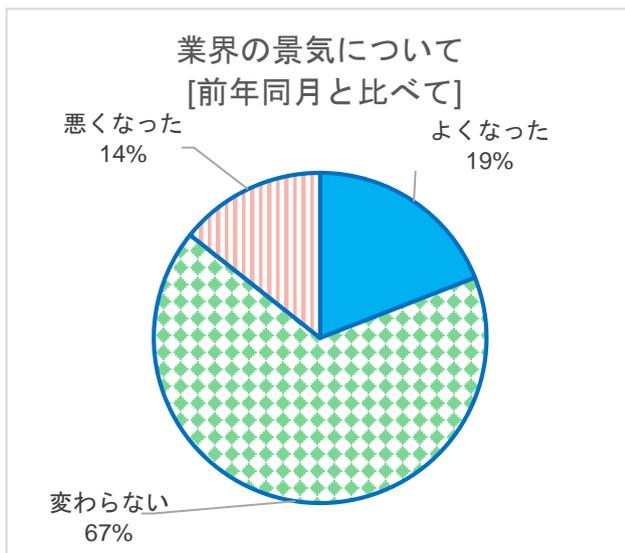
業種	回答者数	構成比
製造業	8	19.0%
建設業	6	14.3%
卸売業	3	7.1%
小売業	12	28.6%
飲食業	1	2.4%
サービス業	8	19.0%
その他	4	9.5%
計	42	100%



調査結果のポイント

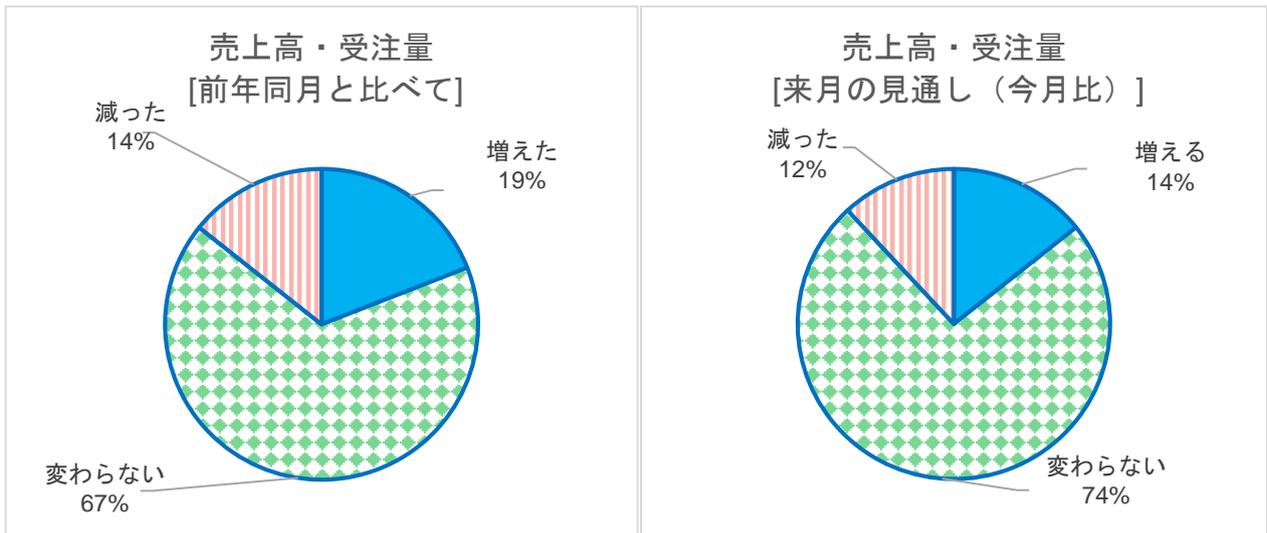
<景況>

- ・2023年10月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が19.0%、「変わらない」が66.7%、「悪くなった」が14.3%となりました。
- ・2023年11月以降の見通しについて、10月と比較して、「よくなる」が9.5%、「変わらない」が76.2%、「悪くなる」が14.3%となりました。



<売上高・受注>

- ・2023年10月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」19.0%、「変わらない」が66.7%、「減った」が14.3%となりました。
- ・2023年11月以降の見通しについて、10月と比較して、「増える」が14.3%、「変わらない」が73.8%、「減る」が11.9%となりました。



【景気動向 DI (毎月版)】

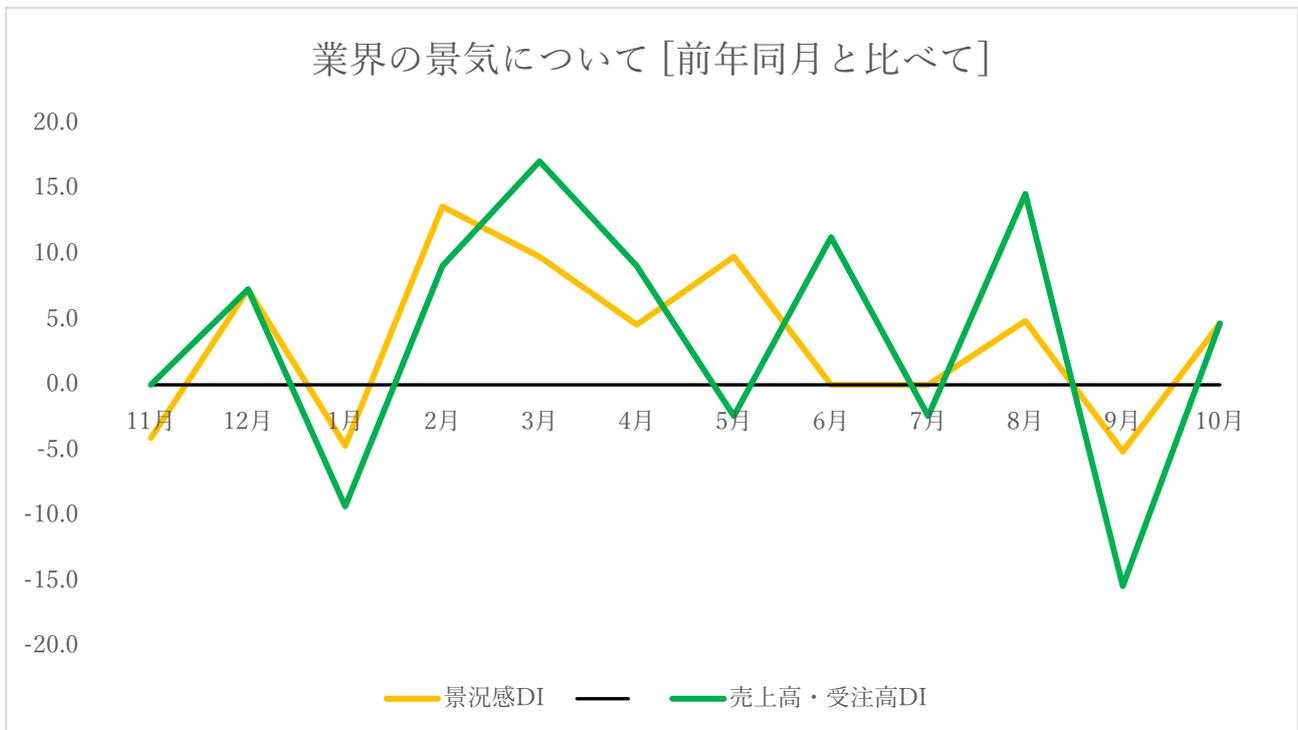
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

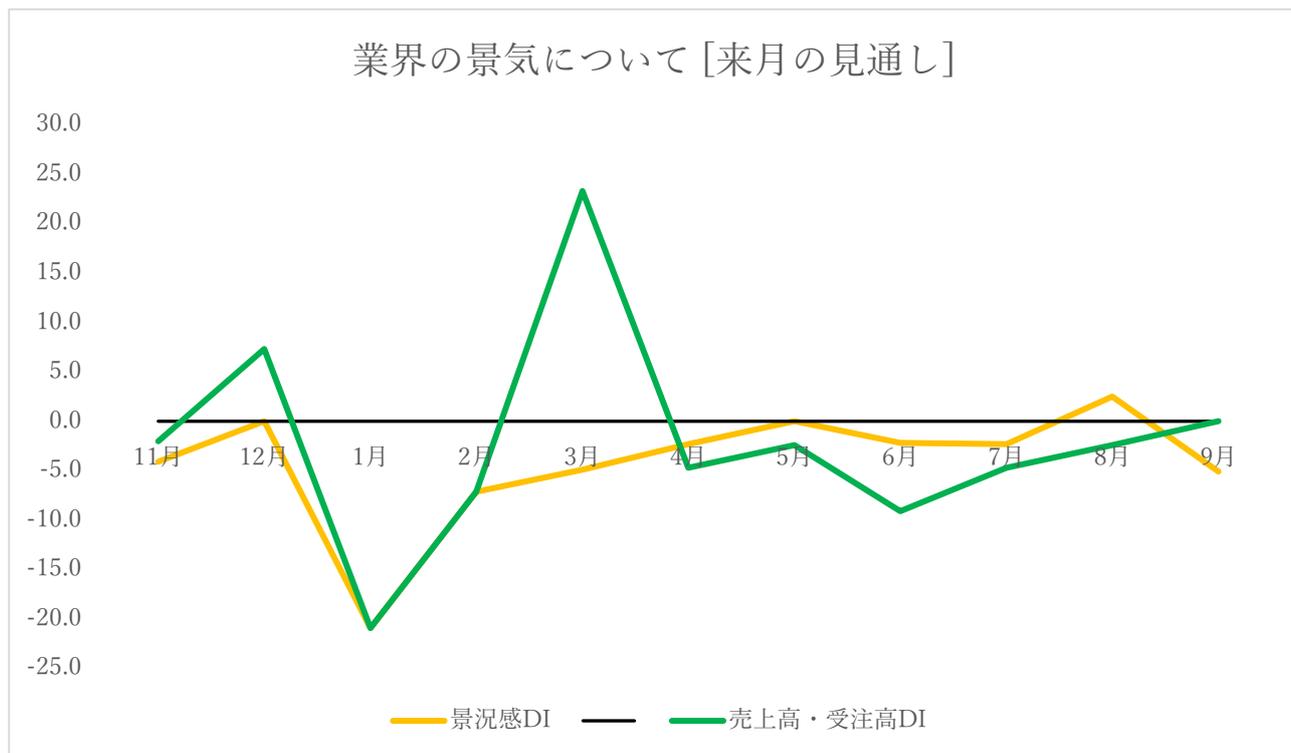
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2022年11月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
景況感DI	-4.1	7.3	-4.7	13.6	9.8	4.6	9.8	0.0	0.0	4.9	-5.1	4.7
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高・受注高DI	0.0	7.3	-9.3	9.1	17.1	9.1	-2.4	11.3	-2.4	14.6	-15.4	4.7

2022年11からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について[来月の見通し (今月比)]												
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
景況感DI	-4.1	0.0	-20.9	-7.1	-4.9	-2.3	0	-2.2	-2.3	2.5	-5.1	-4.8
売上高・受注量 来月の見通し (今月比)												
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高・受注高DI	-2.0	7.3	-20.9	-7.1	23.3	-4.7	-2.4	-9.1	-4.7	-2.4	0.0	2.4

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
菓子小売業(製・小)	菓子の販売価格が上がり、お客様の買い控えを感じる。
自動車(小・修)	自動車販売は特に軽自動車の販売が落ち込んでいる気がする。新車は仕入れの仕切り額もかなり削られていて、厳しい状況が続いている。
税理士	所得税等減税をちらつかせ、自民党の票稼ぎが見え見えなのに、複雑な減税手続きを志向し行政コストをさらに高める政策は考えもの。
鑄材(卸)	鑄造業界など製造業の低迷。
税理士	単価が下がっている。
自動車タイヤ(小)	昨年2度の値上げで先買いをしていただいたので、今年は暖冬と相まってかなり厳しい冬になりそう。
印鑑(製・販)	区名変更に伴う住所変更のゴム印の注文が増えてきている。直近になると混み合って出来上がりが遅れ、年明けの区名変更時に間に合わない可能性がございますので、早めのご注文をお願いしたい。
警備業	どの業界もそうだと思いますが、警備業界も人財獲得が困難。そのため、需要過多により、特に公共工事に係る警備員の供給ができておらず、工期延長等の措置が施されている。
税理士	若年労働者の退職に困っている人が多い。
楽器(製)	物価高騰や取引先の廃業などで、材料・備品等を仕入れるのが、とても大変になっている。

社会保険労務士	区再編による変更手続きは特に必要ないといわれているが、電子申請関連においては年を跨いだ届出をした際、自動チェックによる入力エラーが出たりしないだろうか？ 又、電子証明書には影響がないだろうか？
ディスプレイ業	ビジネスマッチング類の企業展示会が多く開催された月となった。
広告制作業	人材不足を感じる。
木製家具(製)	年明けからの、中央区への変更の対応による書類、印鑑の対応が懸念。
司法書士	認知症対策の相談が微増している。
家庭電化製品(販)	天候不順の為、季節商品の動きが鈍い。メーカーは、エアコン暖房に力を入れているが、お客様の反応は鈍い。
事業協同組合(青果)	このところの野菜の高騰で商品が揃えづらくなっている。
事業協同組合(石油)	前年が好調だった反動とガソリン等の価格が高いため買い控えにより、販売数量が減少した。一方、マージンはますます確保できた。なお、来年4月末まで補助金延長が決定したので、安堵している。
事業協同組合(機械)	世界の一部地域の紛争、戦争が終結しないと繁栄と安定は難しいと感じる。
事業協同組合(鉄)	インボイス制度について仕入れ税額控除の対象としては分かるが相変わらず小規模の商店等は理解が進んでいない。
事業協同組合(ものづくり)	人財不足が常習化している。
菓子材料(卸)	新規オープンや移転拡大オープンの案件は多い。 一方で大手の参入の噂も耳にするので、環境としてはより厳しくなることが予想される。生き残っていくための動きが必要だと感じる。
燃料(小)	電気・都市ガス料金負担軽減事業が継続されることになった。LPガスも他エネルギーと同様に円安や情勢不安の影響を受けている。公平な政策を望む。

①新型コロナウイルス感染症の影響 ②物価高騰・円安の影響	
③インボイス制度への対応 ④その他	
鋳材(卸)	① 新型コロナウイルス、インフルエンザの影響が出なければ年末まで忙しくなると予想している。
鉄材料(販)	① 警備業界内では、マスク着用義務等の制約はほぼ無くなり、以前の様な業務体制・形態に戻った。
ディスプレイ業	②エネルギーの高騰、原材料高により著しく収益率が悪化している。また、中東情勢の推移により更なる懸念がある。
菓子材料(卸)	②ボーナス商戦に期待しているが、物価高騰の為、商品の購入動機は弱い。
家庭電化製品(販)	②円安傾向が続き、輸出業者はプラス材料だが、一般消費者は仕入材料の高騰、賃上げの問題等山積です。
事業協同組合(ものづくり)	②工作機械の受発注は前年比1月～9月まではマイナス。設備投資が上向きになりつつあるとはいえ中小企業の売り上げは思ったほど伸びていない。
造園工事業	②最低賃金改定により、既存パート従業員の労働条件変更が生じている。
菓子小売業(製・小)	②材料高、インボイス対応、ゼロゼロ貸付返済等で苦しんでいる。
サッシ・ドア(製)	②仕事量はあるが、利益が物価高騰についていけない。インボイスがはじまり、送った請求書、領収証があっているのか不安である。

農産物(卸・加工)	②日本は、資源、食糧の乏しい国なので、円安の影響をもろに受けて、菓子の原材料の砂糖や小麦粉、卵なども値上がりしていて、未だまだ止まる傾向になく、先が見えない。原材料が上がる程、売価に乗せれない為、苦しい経営が続き、またお客様も買い控えの傾向にあることは、間違いないと思う。
建築設計業	②物価高騰により、民間建築受注が減っている。
事業協同組合(機械)	②物価高騰が相変わらず収まらない。売上は戻ってきているが利益を出すのが難しい。対策を取ってほしい。
木製家具(製)	②物価高騰に懸念がある。
一般土木建築工事業	②物価高騰による消費が減っている。
広告制作業	②物価高騰による定期的な材料単価の上昇により利益が圧迫している。
印鑑(製・販)	③インボイスについて、経営者や経理担当でない方は、まだ理解していない方が多いように感じる。
司法書士	③インボイス制度・電子帳簿保存の運用が始まり対応に苦慮しているのが現状。ギリギリ何とか対応できていますが、分かり難い制度で理解してくのが大変。またインボイスの対応が大変になったため、税理士事務所の報酬も値上げになり厳しい状況に拍車がかかっている。
事業協同組合(石油)	③インボイス制度が開始され各企業の経理部が対応に追われている。
楽器(製)	③インボイス制度が始まって、事務量が非常に増えた。
玩具(販)	③インボイス制度に関して、対応を検討している。
宝飾(小)	③インボイス制度について、従来方法と変わらない。登録ナンバーの意味がしっくりこない。10%税率は一本なので、それはいいが、領収書・請求書の保存がどのようにどこまで必要なのか苦労している。今後どこまでがよいのかという線が見えていない。
燃料(小)	③インボイス制度によって業務が増え苦しい。
自動車タイヤ(小)	③インボイス制度は未登録だが今のところ取引に影響はない。
社会保険労務士	③社労士事務所とは別名になる労働保険事務組合名義の領収書はインボイス登録番号と登録名義の併記に加え、課税と非課税の項目が入り混じったややこしい表記になってしまったため、分かり難いと言われて困っている。
電気配線工事業	④業種に関係なく人手不足が常態化している。求人方法を再検討し、同時に自社の強みを磨く戦略が良い人材を確保するポイントになってきている。
事業協同組合(鍍金)	④社会情勢が不安定で今後どのように景気が進んでいくか読めない。

以上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2023年11月期調査結果（2024年1月発表分）

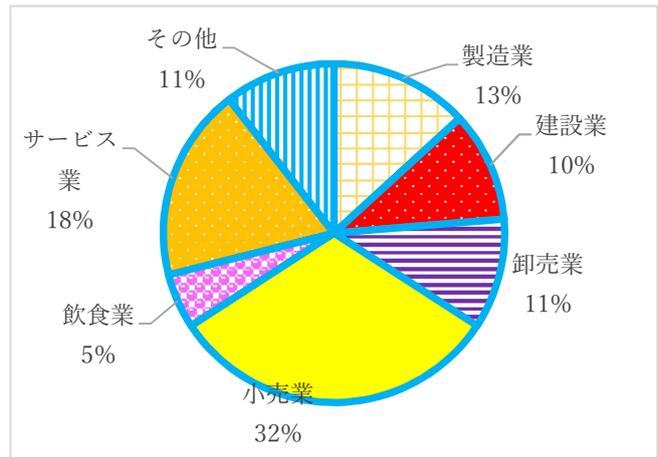
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2023年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は38名（回答率は59.3%）

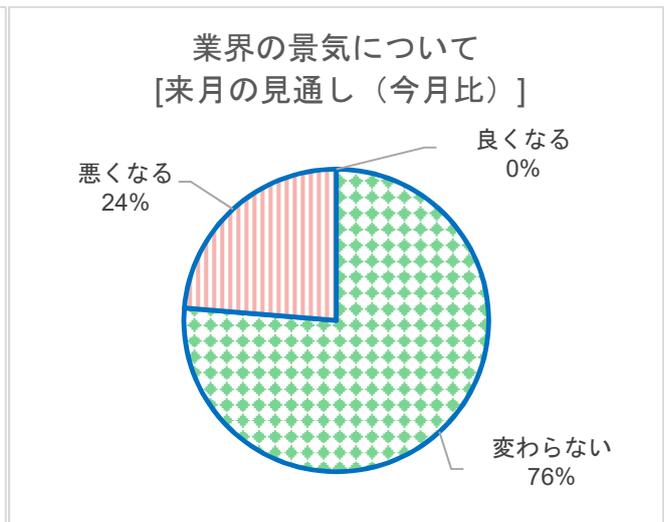
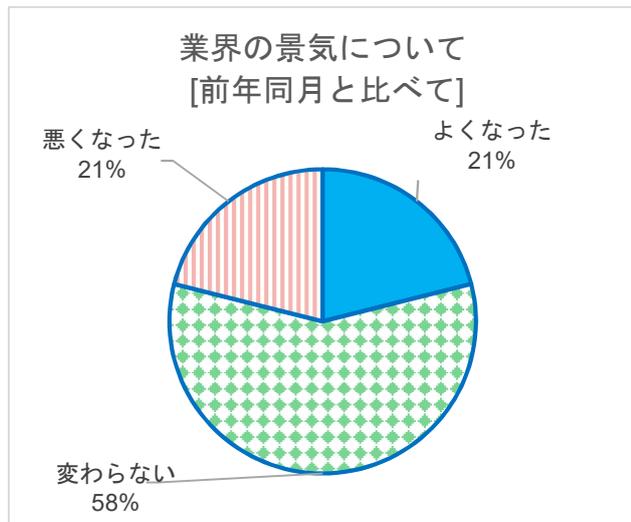
業種	回答者数	構成比
製造業	5	13.2%
建設業	4	10.5%
卸売業	4	10.5%
小売業	12	31.6%
飲食業	2	5.3%
サービス業	7	18.4%
その他	4	10.5%
計	38	100%



調査結果のポイント

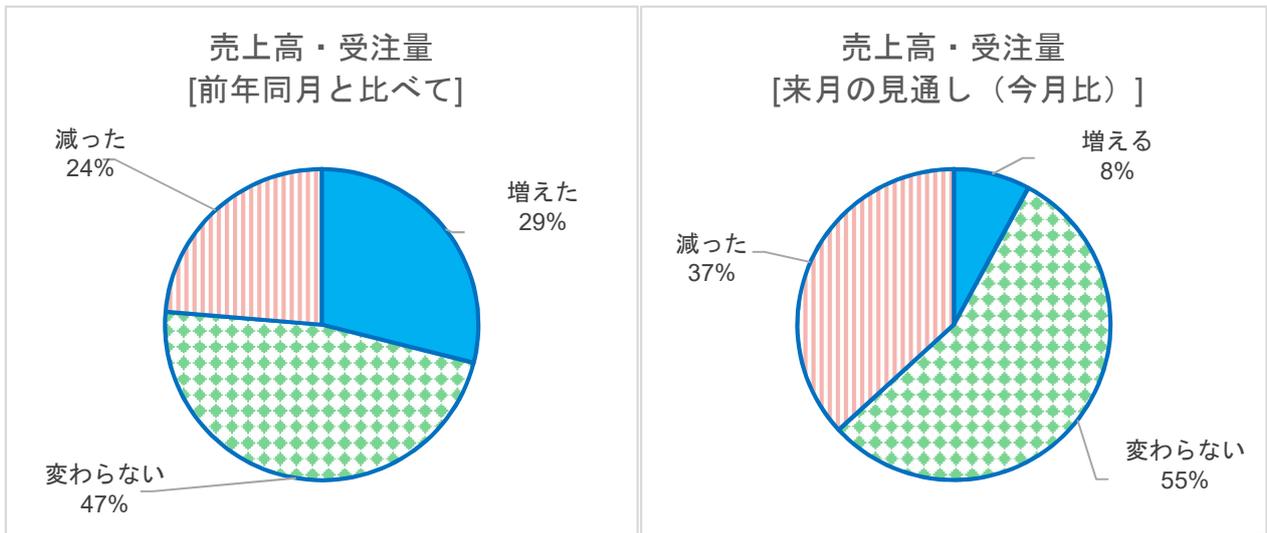
<景況>

- ・2023年11月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が21.1%、「変わらない」が57.9%、「悪くなった」が21.1%となりました。
- ・2023年12月以降の見通しについて、11月と比較して、「よくなる」が0%、「変わらない」が76.3%、「悪くなる」が23.7%となりました。



<売上高・受注>

- ・2023年11月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」28.9%、「変わらない」が47.4%、「減った」が23.7%となりました。
- ・2023年12月以降の見通しについて、11月と比較して、「増える」が7.9%、「変わらない」が55.3%、「減る」が23.7%となりました。



【景気動向 DI (毎月版)】

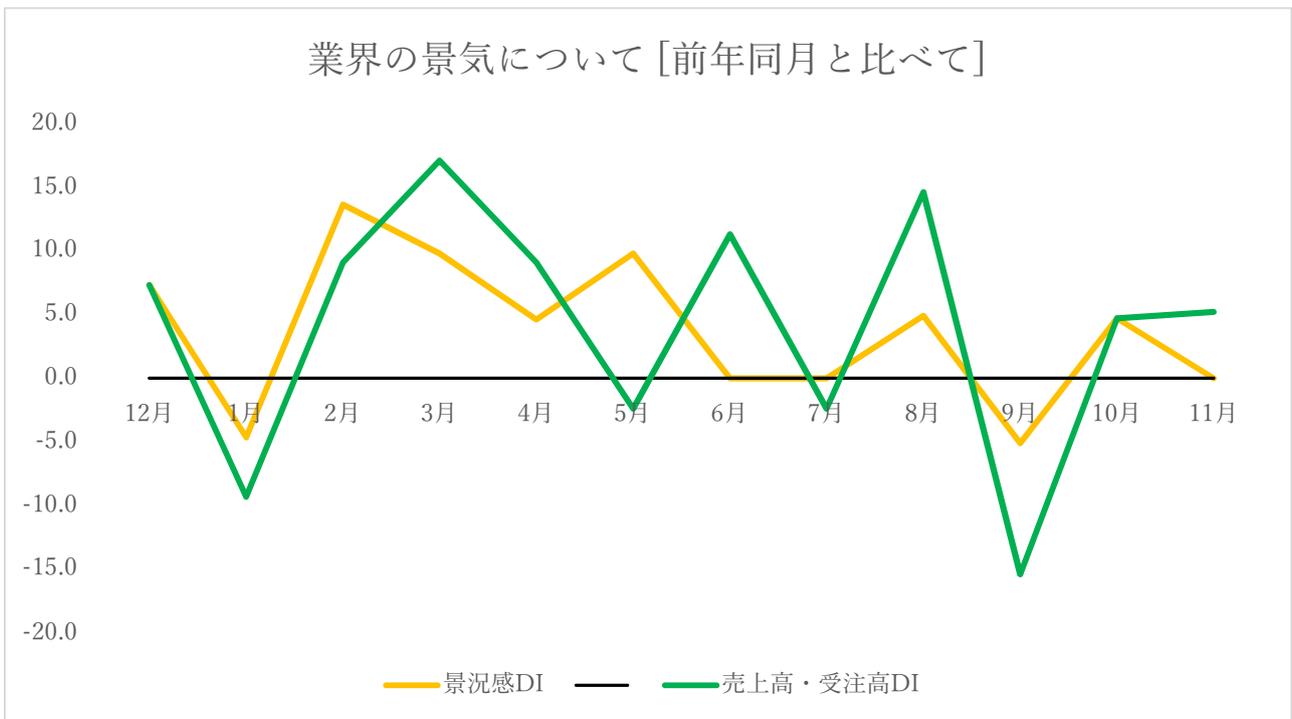
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

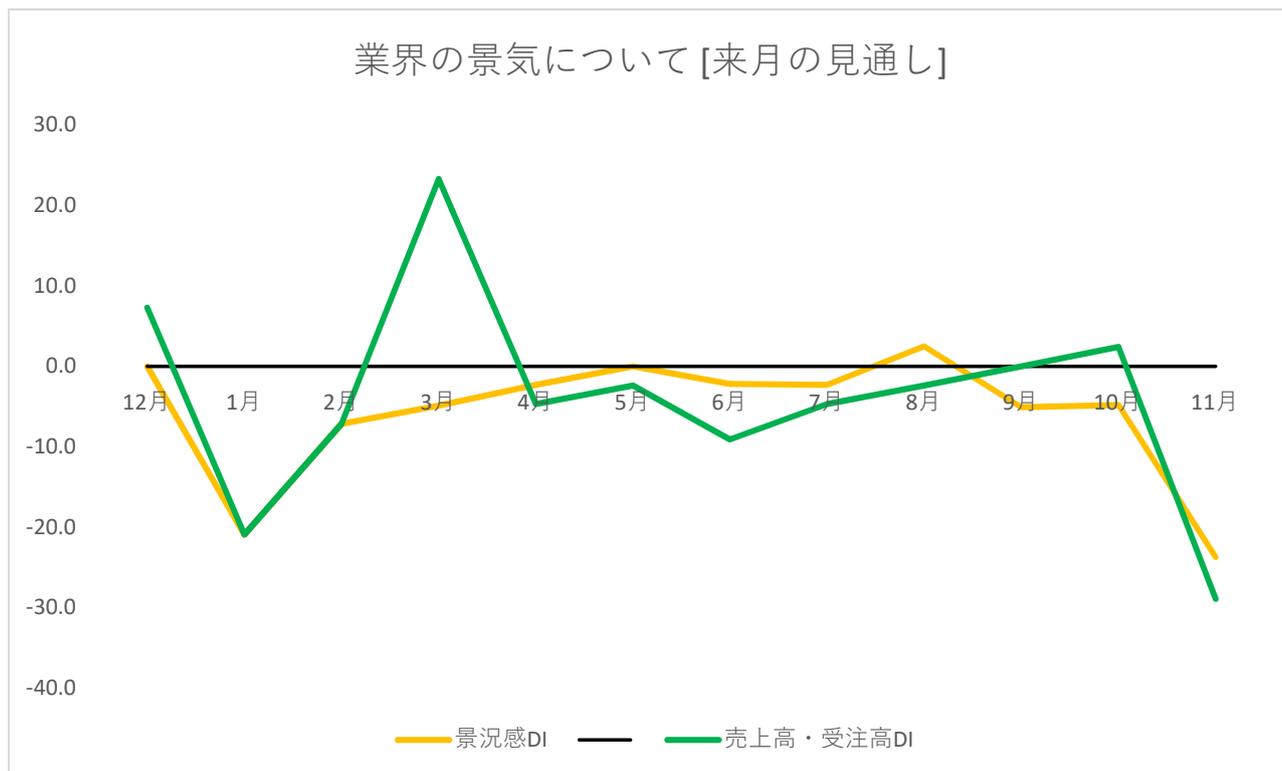
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2022年12月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
景況感DI	7.3	-4.7	13.6	9.8	4.6	9.8	0.0	0.0	4.9	-5.1	4.7	0.0
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高・受注高DI	7.3	-9.3	9.1	17.1	9.1	-2.4	11.3	-2.4	14.6	-15.4	4.7	5.2

2022年12からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について [来月の見通し (今月比)]												
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
景況感DI	0.0	-20.9	-7.1	-4.9	-2.3	0	-2.2	-2.3	2.5	-5.1	-4.8	-23.7
売上高・受注量 来月の見通し (今月比)												
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高・受注高DI	7.3	-20.9	-7.1	23.3	-4.7	-2.4	-9.1	-4.7	-2.4	0.0	2.4	-28.9

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
菓子小売業(製・小)	菓子業界は、円安で消費者の買い控えが目立つ。それに伴い中規模以上の企業の倒産や、大企業などの傘下に入る店舗が増えてきた。
自動車(小・修)	自動車販売は新型車が出て、生産台数が少なく購入できない車種が多くなってきている。メーカー側にも様々な理由があると思うが、お客様が欲しい車種が手に入らないと、国内の経済も回らず、中小企業から先に苦しい状態に陥ってしまってしまう。
鑄材(卸)	鑄造業界は製造機械の製作低迷で、受注が減少している。
化粧品(小)	小売業は、世の中の情勢に左右されやすい。
税理士	下請け加工業が衰退化のため販路が縮小しつつある。
印鑑(製・販)	人材不足を感じる。
広告制作業	区再編による住所ゴム印の需要がある事で、例年より売上は上がっている。但し、通常業務以上の受注があるため納期に遅れが出ており、発注者様にはご迷惑をおかけしている。
警備業	それぞれの会社が賃上げし、他社よりも良い雇用条件で求人をしてきたが、その条件も頭打ちになってきたため、どの会社も状況がほとんど変わらなくなってきた。
社会保険労務士	人材不足を感じる。

楽器(製)	物価の高騰は収まらず、インボイス制度が始まり混乱がある事から、あまりいいニュースを聞かない。
社会保険労務士	雇用保険の適用拡大(週10時間以上)の案があがっているようだが、更なる人手不足を招くのではないかと思う。
電気配線工事業	ケーブル等が注文後3~6か月後の入荷で作業に困っている。
木製家具(製)	仕事は出てきているが、やはり先行きは不透明だ。
家庭電化製品(販)	年末商戦に入り、一部の商品に生産待ちの商品が発生した。特に有機ELテレビの一部の商品では、1月下旬になるとのこと。
事業協同組合(青果)	年末に向け商品の品薄、高騰が心配である。
事業協同組合(石油)	前年同月と比較し、ガソリンの販売数量は前年並み・マージンは増加した。2024年4月末までガソリン等への補助金は継続されるが、5月以降の政府の対応(補助金支給継続の有無・トリガー条項廃止など)がどのようになるか懸念である。
事業協同組合(鉄)	受注量は増加傾向だが、人手不足。時給1000円以上で募集しても採用できない。鉄鋼団地内の駐車場用地も不足している。
事業協同組合(ものづくり)	人材不足を感じる。
事業協同組合(鍍金)	受注量が不安定である。
農産物(卸・加工)	新型コロナウイルスの影響を受けた料理店が経営維持のために価格を上げたことにより客数が減り、その影響を受け注文数が減った。
菓子材料(卸)	人手不足により出来ないことが増えている。週休2日のお店も増えてきたため、弊社も週休2日になった。
花・植木(小)	仕入れ価格が高騰化している。
燃料(小)	ガス価格は高値で推移しているものの、懸念されていたイスラエル・パレスチナ情勢不安による更なる急騰は今のところ起きていない。 繁忙期に入り業務が忙しい中、インボイス対応や浜松市区再編による住所変更等、プラスにならない煩わしい作業が増えることに憤りを覚える。

①新型コロナウイルス感染症の影響 ②物価高騰・円安の影響 ③インボイス制度への対応 ④その他	
化粧品(小)	①新型コロナウイルス感染症の影響と物価高騰等が懸念材料である。
楽器(製)	①コロナウイルスの影響はほぼ無くなってきているが、また中国で違う肺炎が流行り始めているという報道を目にした。同じようなことにならないかいいと思うが心配である。
事業協同組合(鉄)	①コロナの位置づけが2類から5類に引き下がってから飲食を伴う会が増えたと同じくインフルエンザがかなり流行をしておりパートの出勤にも影響が出ている。感染拡大対策としてバス・電車にもアルコール消毒液を設置してはどうか?
菓子材料(卸)	①身の回りに新型コロナ陽性者はいないが、インフルエンザによる病欠は増えている。
菓子小売業(製・小)	②アメリカの景気が今後悪くなることが予想される中、日本も例外ではなく、円安などで大変の中、インボイス制度等でさらに倒産する企業が増えると思定される。

鑄材(卸)	②ウクライナや中近東の戦争の影響で、経済状況が悪化している。
税理士	②物価高騰による生産縮小が不安。
自動車タイヤ(小)	②タイヤ価格の再値上げの話はまだ出ていないが、オイルの価格がまた2月から上がるとの事。上がらないのは我が給料。給料を上げたら法人税を安くします方式の賃上げ方法でなく、抜本的な改革をしないと全体の給料は上がってこないと思う。
印鑑(製・販)	②物価高騰が懸念材料である。
電気配線工事業	②物価高騰・円安の影響が心配である。
木製品(製)	②円安の影響が大きく、更に輸入材の価格が上がる予定。
木製家具(製)	②相変わらず苦しいやりくりが続いている。物価高騰にも慣れてしまってきている。
事業協同組合(鍍金)	②エネルギーの関係で、円安の影響のため価格が高止まりしている。
農産物(卸・加工)	②物価高騰の影響で資材等諸々値上げになっているが、商品価格に転嫁できないため経営が苦しい。
花・植木(小)	②物価高騰が懸念材料である。
菓子材料(卸)	②クリスマスケーキについて、この10年で1.2倍~1.5倍の値段になっている。
警備業	③警備業界では、問題になっていることを耳にしていない。
税理士	③インボイス対応については個々の対応で苦慮されている会社はありますが、全体的には混乱は少ないように感じます。電子帳簿保存法については認知も対応も遅れが出ている。
同業団体(商業)	③インボイスに登録したが、業種的に特段必要がなかった。最初、話を聞いた時と内容が変わっていた。インボイスにより手間が増えた。
菓子材料(卸)	③インボイス対応での作業増、生産性減は日本経済においても非常にマイナスだと思う。
宝飾(小)	④金価格の高騰
税理士	④働き方見直して残業や休日は楽になったが、別の収入源を探すのに苦労している。
社会保険労務士	④Googleドライブの同期不具合によりデータが消失することがあるらしい。そのせいか定かでないが共有していたファイルが表示されないトラブルがあった。

以上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2023年12月期調査結果（2024年2月発表分）

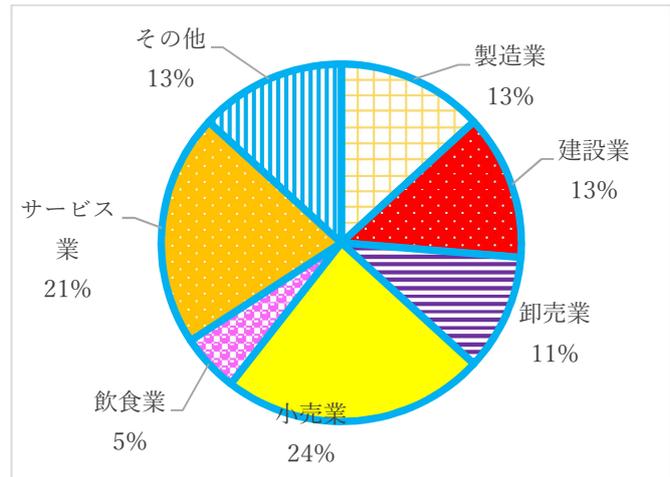
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2023年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は41名（回答率は64.0%）

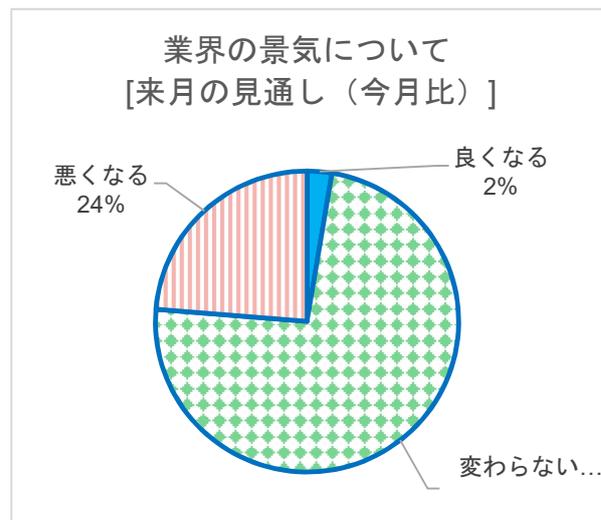
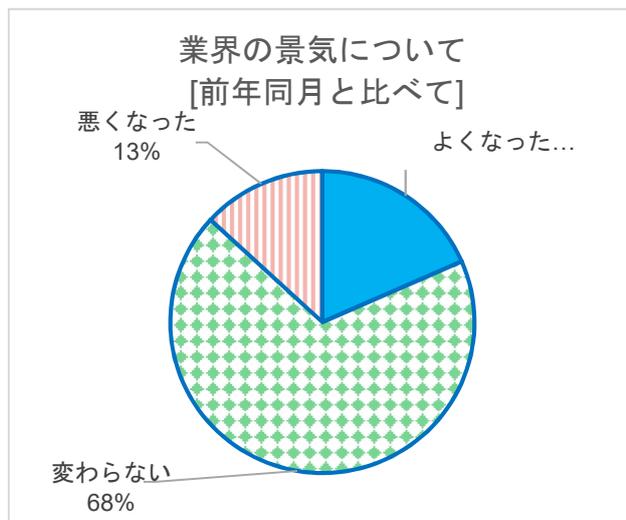
業種	回答者数	構成比
製造業	5	13.2%
建設業	5	13.2%
卸売業	4	10.5%
小売業	9	23.7%
飲食業	2	5.3%
サービス業	8	21.1%
その他	5	13.2%
計	38	100%



調査結果のポイント

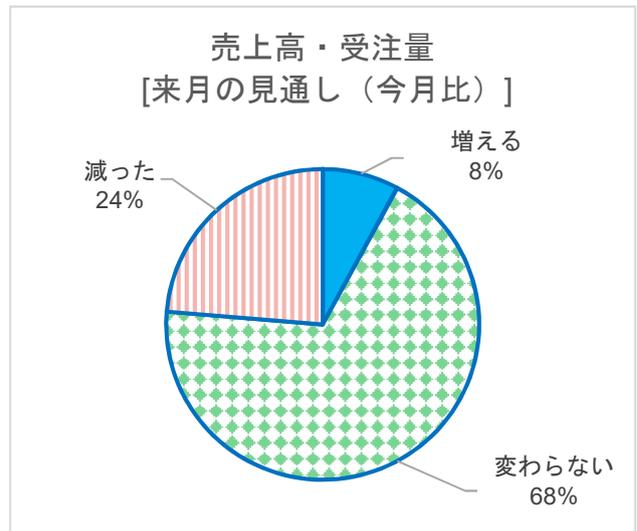
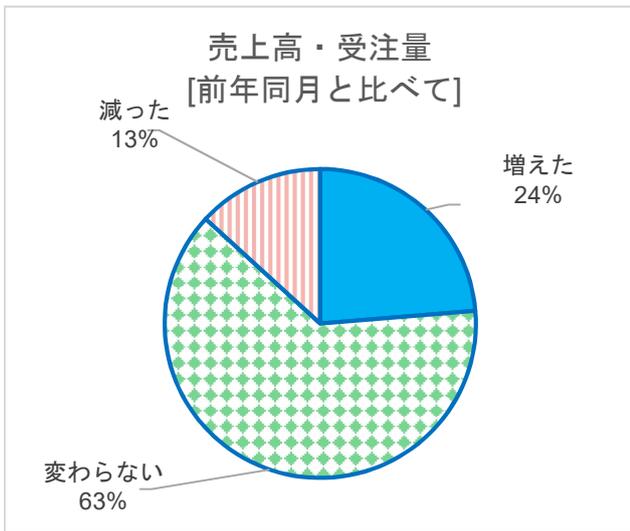
<景況>

- ・2023年12月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が18.4%、「変わらない」が68.4%、「悪くなった」が13.2%となりました。
- ・2024年1月以降の見通しについて、12月と比較して、「よくなる」が2.6%、「変わらない」が73.7%、「悪くなる」が23.7%となりました。



<売上高・受注>

- ・2023年12月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」23.7%、「変わらない」が63.2%、「減った」が13.2%となりました。
- ・2024年1月以降の見通しについて、12月と比較して、「増える」が7.9%、「変わらない」が68.4%、「減る」が23.7%となりました。



【景気動向 DI (毎月版)】

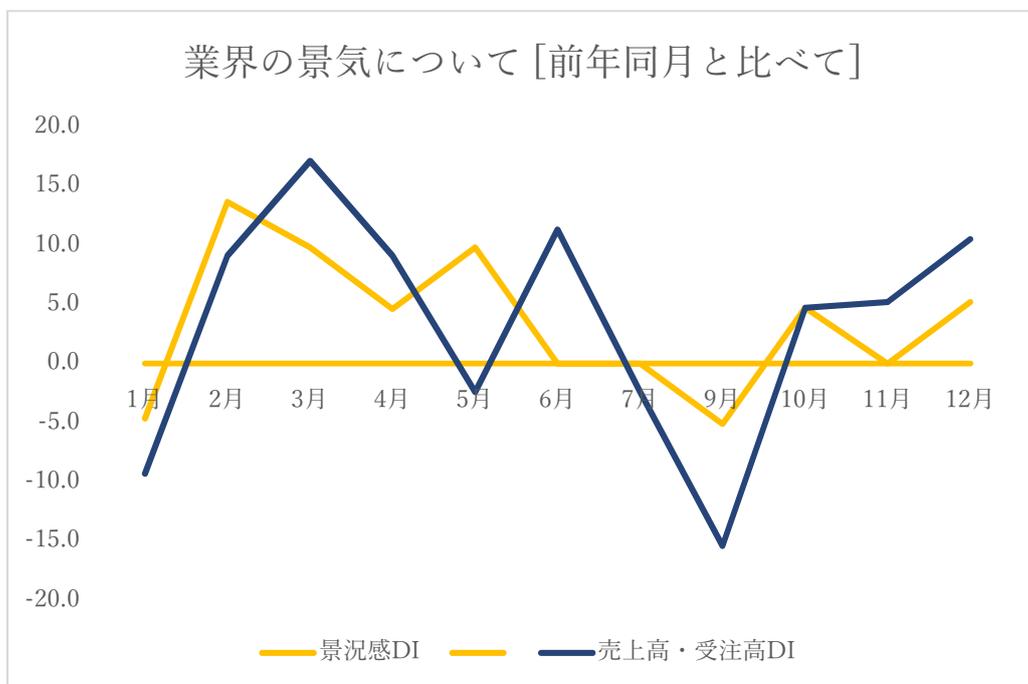
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

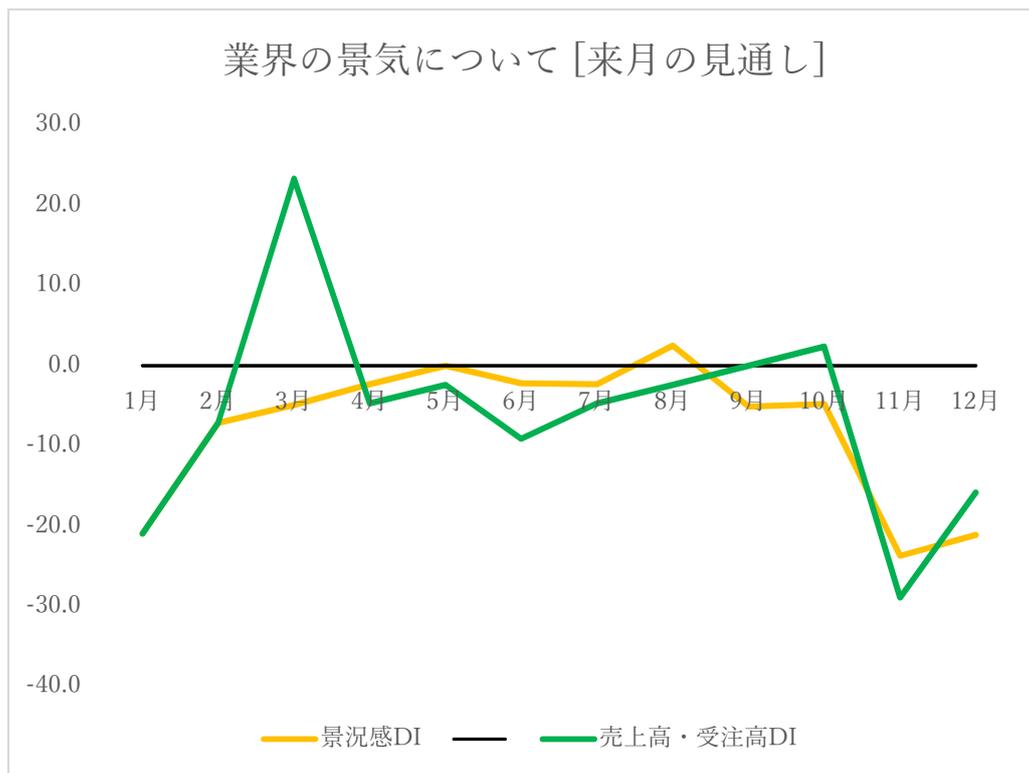
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2023年1月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
景況感DI	-4.7	13.6	9.8	4.6	9.8	0.0	0.0	4.9	-5.1	4.7	0.0	5.2
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高・受注高DI	-9.3	9.1	17.1	9.1	-2.4	11.3	-2.4	14.6	-15.4	4.7	5.2	10.5

2023年1月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について[来月の見通し (今月比)]												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
景況感DI	-20.9	-7.1	-4.9	-2.3	0	-2.2	-2.3	2.5	-5.1	-4.8	-23.7	-21.1
売上高・受注量 来月の見通し (今月比)												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高・受注高DI	-20.9	-7.1	23.3	-4.7	-2.4	-9.1	-4.7	-2.4	0.0	2.4	-28.9	-15.8

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
菓子小売業(製・小)	売価がどうしても以前より高くなるので、お客様が以前買った金額より、明らかに、安い菓子を買う傾向がある。
自動車(小・修)	自動車業界はビックモーター問題からのダイハツ問題でお客様に対する安全と安心にヒビが入ってしまった状態。これらの大きな問題はさまざまな小さな問題を生み、いろいろな人が苦しんでいる。今こそ業界全体の意識を変革し新たな一歩を踏み出し、信頼の回復に努めなければならない。
税理士	昨年インボイスが施行され、電子帳簿保存法も施行され法体制への対応が要求されている。
建築工事業	大阪万博の工事の影響で、電気の配線が手に入りにくくなっており、今後の建設工事の進捗に影響が出ると思われる。
鑄材(卸)	工作機械全般に受注が低迷している。
税理士	自動車関連の受注が縮小している。
広告制作業	人材不足を感じる。
印鑑(製・販)	行政区再編による住所変更のゴム印受注のピークとなり、年内の納めが間に合わず、年明けの納めになった受注分が多くあった。 まだしばらくは変更のゴム印の受注が続くかとおもわれます。

警備業	警備業界でも相変わらずの労働者不足。浜松市の有効求人倍率が近隣の市に対して特に高いため、浜松市以外での求人が活発になってきた。
税理士	電子帳簿保存法のやり方がわからない事業所が多い。
税理士	人手不足、人材不足が顕著になっている。これは一過性のものでなく、慢性的な現象としてとらえて人材確保に取り組む必要性を感じる。
社会保険労務士	建設業界の労働時間改正に向け対策を立てたいが、どうしても移動時間に対する対策が立てづらい。
楽器(製)	どの業界でもそうだと思うが物価高騰のため利益を圧迫する。
社会保険労務士	社労士でない者が社労士にしかできない業務を隠れて行っているという噂は度々耳にするが、最近また少し増えてきたかを感じる。
ディスプレイ業	新年早々の災害で、また自粛モードにならざるをえないが、今後どのように業界に影響がくるのかが心配なところである。
電気配線工事業	資材不足により、ケーブル材を3月まで受注を受けられない。新築・改修・突発事故対応に対処できない状態で困っている。
サッシ・ドア(製)	相変わらず仕事量は少なく、上向きになる気配もない。
司法書士	相続登記義務化がスタートすることで、相談が増えた。
家庭電化製品(販)	年末商戦は、欠品商品が発生しお客様に待つて頂く事があった。メーカーは、多品種少量生産を改善する必要がある。
事業協同組合(石油)	ガソリンの販売数量・マージンは、ほぼ前年並み。本年4月末までガソリン等への補助金は継続されるが、5月以降の政府の対応(補助金支給継続の有無など)がどのようになるか懸念される。
事業協同組合(機械)	自動車関連企業はそうなべて好況だがデンソーリコール、ダイハツ型式認証不正等先行きに不安材料がある。
事業協同組合(鉄)	人手不足対策、高齢者の雇用状況賃金について、また人口減対策と浜松市のふるさと納税の取り組み。
事業協同組合(ものづくり)	人材不足が続いている。
事業協同組合(鍍金)	会員一社の六価クロム汚染も周辺地域の汚染はなく無事に収束した。
事業協同組合(飲食店)	人材不足。
居酒屋	飲食業界では、新年会が増えそう。
燃料(小)	第2回静岡県LPガス料金高騰対策緊急支援事業が実施されることになった。 前回より補助金額は減少したが(1件あたり3,000円→2,100円)、LPガス利用者の負担軽減策は大変ありがたい。

**①新型コロナウイルス感染症の影響 ②物価高騰・円安の影響
③インボイス制度・電子帳簿保存法について ④ダイハツ関係の影響 ⑤その他**

菓子小売業(製・小)	②物価高騰の為、業界の材料も高騰してる。 材料が高騰しているが、上がった分、単価に反映させたら、かなり高くなり消費者の購買力が落ちているのは間違いない。 事実、客単価がかなり下がっている。
税理士	②為替の変動が円高に転換したかと思うと、円安に転じたりして先が読めない。
铸材(卸)	②原油高が物価の高騰に関わり、需要は低下している。

楽器(製)	②物価高騰の影響で今まで値上げせず頑張ってきたが、そろそろ値上げしないと厳しくなってきた。
事業協同組合(鉄)	②自動車関連企業は状況はよくなりつつある一臂工作機械は大手では受注増といわれているがあまり芳しくない。
事業協同組合(ものづくり)	②北米の景気動向の影響。
農産物(卸・加工)	②物価高騰の影響を受け諸々値上がりしたため弊社も値上げすることになった。当初は受注減になるかと心配し値上げできずにいたものの、値上げのタイミングが他所より遅かったおかげで、このご時世では仕方ないと皆さん納得していただくことができ一安心している。
ディスプレイ業	③インボイス、電子帳簿の対応で経理の作業が圧迫されている。慣れるのにもう少し時間がかかりそう。
家庭電化製品(販)	③電子帳簿保存法が、1月からスタートしたが、紙での保存に慣れている為、保存に戸惑う事がある。
税理士	④ダイハツの不正について不安を感じる。
事業協同組合(機械)	④ダイハツ関係の影響が出ている企業もある。
社会保険労務士	⑤人材確保のためか中堅社員の昇給が目立ってきた。一方、年取の壁対策の問合せは皆無で、やはり付け焼刃な政策だったと感じている。

以上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2024年1月期調査結果（2024年3月発表分）

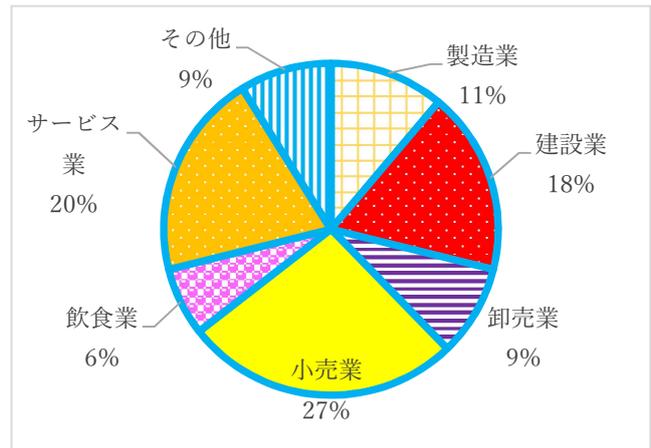
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2023年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は45名（回答率は70.3%）

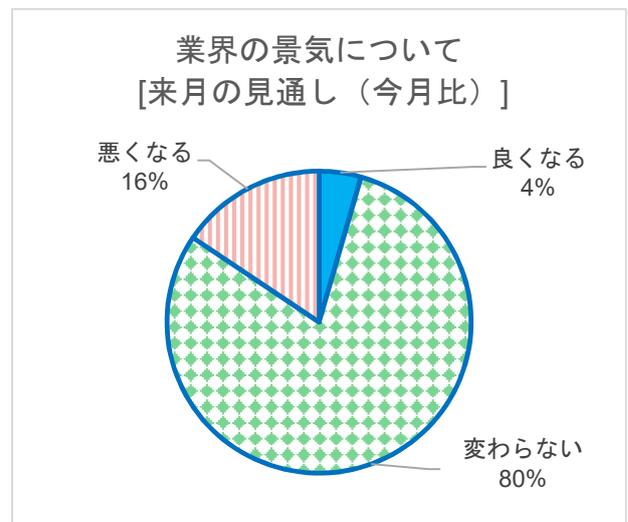
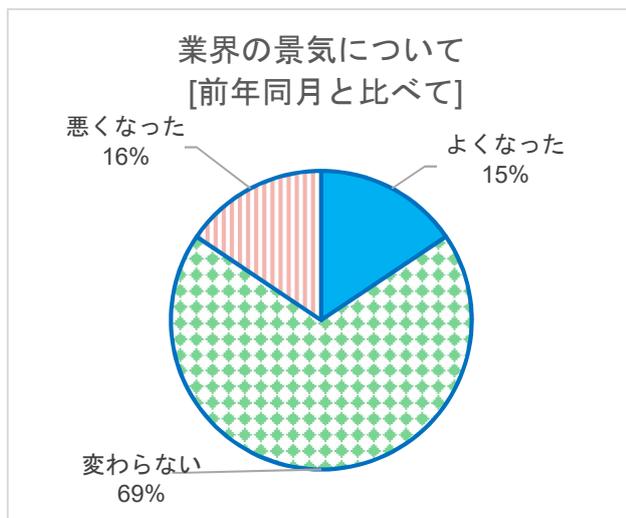
業種	回答者数	構成比
製造業	5	11.1
建設業	8	17.8
卸売業	4	8.9
小売業	12	26.7
飲食業	3	6.7
サービス業	9	20.0
その他	4	8.9
計	45	100



調査結果のポイント

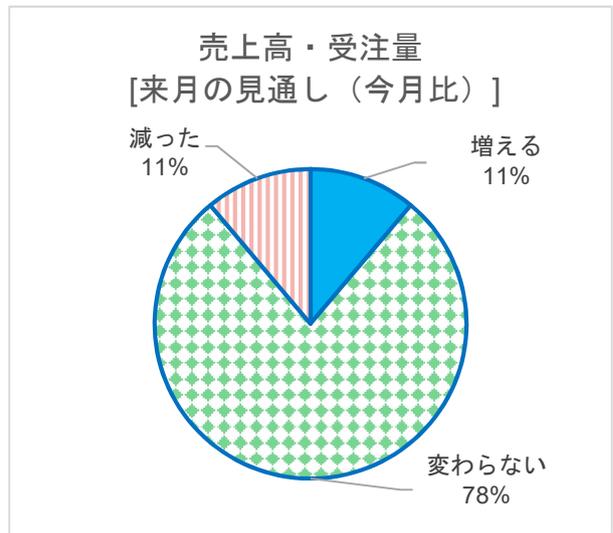
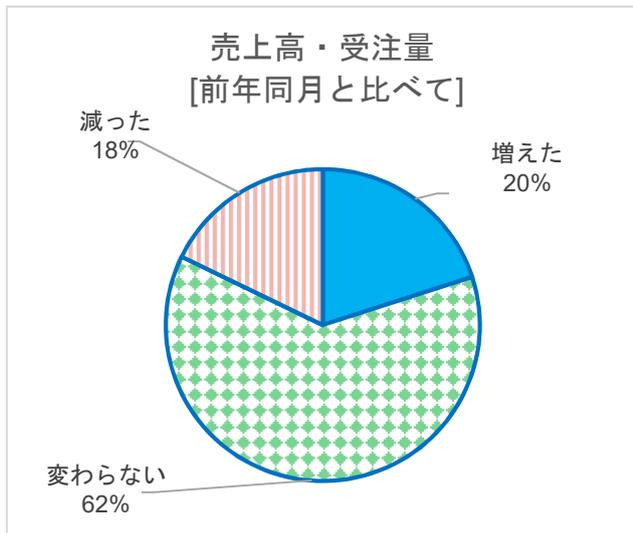
<景況>

- ・2024年1月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が15.6%、「変わらない」が68.9%、「悪くなった」が15.6%となりました。
- ・2024年2月以降の見通しについて、1月と比較して、「よくなる」が4.4%、「変わらない」が80.0%、「悪くなる」が15.6%となりました。



<売上高・受注>

- ・2024年1月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」20.0%、「変わらない」が62.2%、「減った」が17.8%となりました。
- ・2024年2月以降の見通しについて、1月と比較して、「増える」が11.1%、「変わらない」が77.8%、「減る」が17.8%となりました。



【景気動向 DI（毎月版）】

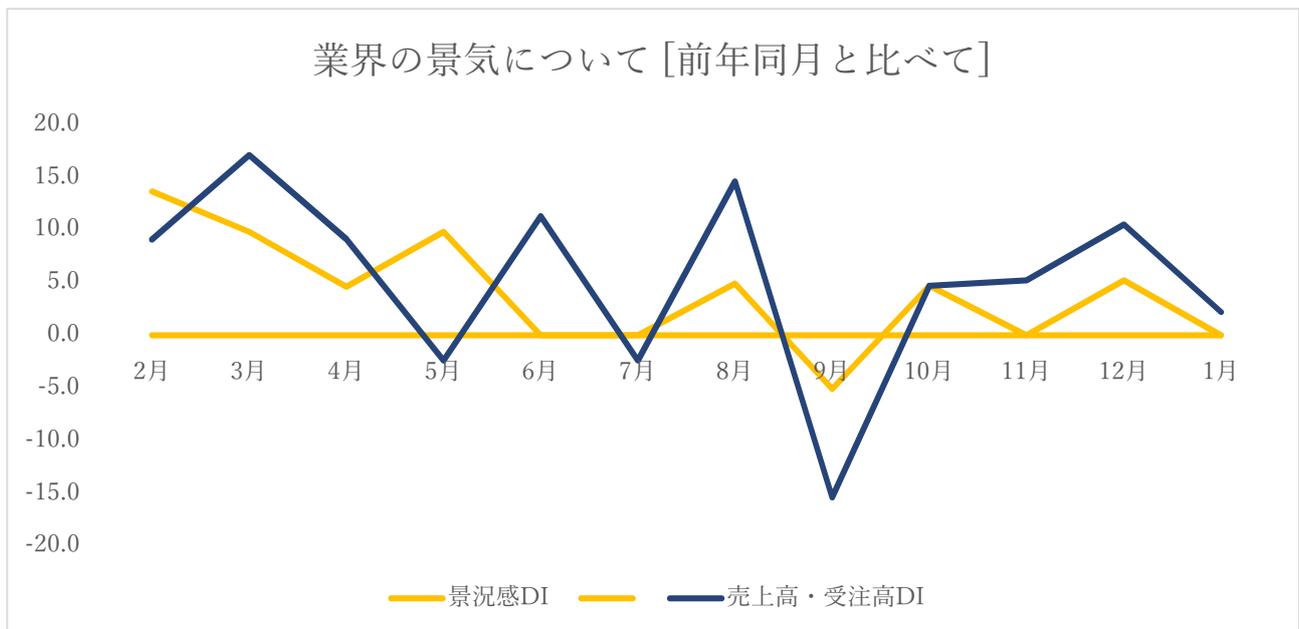
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI（ティフュージョン・インデックス）…前年同月比または前期比で「よくなった（よくなる）」と「悪くなった（悪くなる）」と回答した企業比率を引いた数値。

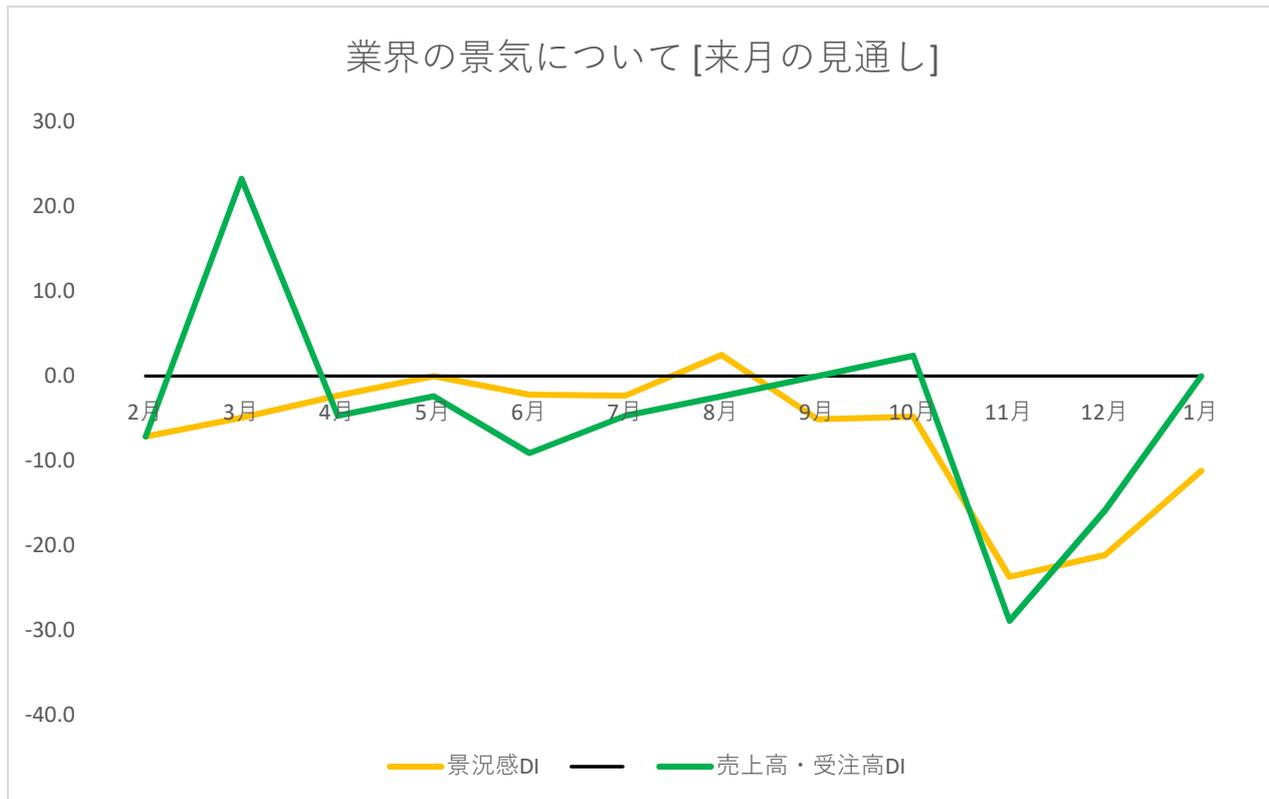
⇒0より上ならば「よくなった（よくなる）」と回答した人が「悪くなった（悪くなる）」と回答した人が多いことを意味します。

2023年2月からの景況感と売上高・受注高（前年同月比）は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
景況感DI	13.6	9.8	4.6	9.8	0.0	0.0	4.9	-5.1	4.7	0.0	5.2	0.0
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
売上高・受注高DI	9.1	17.1	9.1	-2.4	11.3	-2.4	14.6	-15.4	4.7	5.2	10.5	2.2

2023年2月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について[来月の見通し (今月比)]												
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
景況感DI	-7.1	-4.9	-2.3	0	-2.2	-2.3	2.5	-5.1	-4.8	-23.7	-21.1	-11.2
売上高・受注量 来月の見通し (今月比)												
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
売上高・受注高DI	-7.1	23.3	-4.7	-2.4	-9.1	-4.7	-2.4	0.0	2.4	-28.9	-15.8	0.0

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
自動車(小・修)	自動車業界は大きな問題が多く、年度末の繁忙期にも関わらず状況が悪い。
ピアノ・オルガン部品(製・卸)	業界全体で景況感に不安がある。先の仕事の目処が立っていないのが原因かもしれない。
税理士	借入金利が上昇すると、資金繰りが苦しくなってくる企業が増えてくる懸念がある。
鋳材(卸)	継続的は物価の高騰。
税理士	職人不足。
祭用品(小)	業界全体に労働者の高齢化が進み生産が追い付かない。
印鑑(製・販)	行政区再編による住所変更のゴム印等の発注が一段落した。お急ぎのところ納期がかかりましてご迷惑をおかけいたしました。
土木工事業	資材の高騰、少子高齢化による職人の減少及び担い手不足、コロナ融資による建設業の倒産、建設業の2024年問題。
警備業	警備業への求人問い合わせは、65才以上の方からが多くなった。
税理士	物価高・消費税の価格転嫁をしたいが思うようにいかない企業が多い。
ごみ収集運搬業	廃棄物の行政処分場が天竜区に新設され、それにとまって収集運搬ルートが大きく変更となり、コストが変わってくる。

社会保険労務士	男性の育児休業申請が増えてきたことにより、代替要員等の活用を検討することが多くなった。
楽器(製)	学校ではインフルエンザやコロナの感染が増えてきている。そこから親に感染し流行り始めている。
社会保険労務士	東西年金事務所の管轄は旧区のままだが、今後新たに適用となる事業所は中央区と浜名区で新たな記号番号が振り出され、しかも同じ区でも東管轄と西管轄で番号が違うらしい。紛らわしさを感じる。
ディスプレイ業	毎年のことだが、年明けはどうしても売上が落ち込む。
電気配線工事業	電線不足(九州・北海道の半導体工場、大阪万博、能登地震が優先されているため)
広告制作業	人材不足。
司法書士	相続登記の義務化について問い合わせが増えた。
家庭電化製品(販)	今年度より、エコキュート購入へ国より補助金が出る。家電業界にとっては追い風。
総合建設業	人材不足。物価高による受注鈍化。
事業協同組合(青果)	気候が不安定で、生産物の生産が心配である。
事業協同組合(石油)	ガソリンの販売数量は前年同月と比べ減少、マージンはやや増加。 本年4月末までガソリン等への補助金は継続されるが、5月以降の政府の対応(補助金支給継続の有無など)がどのようになるかが懸念される。
事業協同組合(鉄)	昨年末に引き続き、人手不足対策高齢者の雇用対策、浜松市のふるさと納税の仕組みをもっとPRしてほしい。
事業協同組合(鍍金)	原料費の高騰。
菓子材料(卸)	慢性的な人手不足。需要が戻っても、生産能力が追いつかない。
燃料(小)	今年の冬は暖かい日が多く、平均気温が平年に比べ高い為、ガス・灯油共に消費量が少ない。
建築設計業	建設工事の工事金額はコロナ渦中の時よりも上昇傾向は落ち着いた感がありますが、減少に転じることは無いようです。一度上がった金額は直ぐには下がらないことが多い。それにより、民間物件は、工事金額がネックになり計画が始まっても中止になる案件も見受ける。
①新型コロナウイルス感染症の影響 ②物価高騰・円安の影響	
③インボイス制度への対応 ④ダイハツ問題⑤その他	
祭用品(小)	①コロナ過後、需要はあるが供給が追い付かない。
社会保険労務士	①最近また徐々に感染症による欠勤が増えてきたが、以前より短期で済むため傷病手当金を使わず有休消化で済ませる事業所が多い。
家庭電化製品(販)	①新型コロナウイルス感染症の患者が、再び増加している。当社の社員も感染してしまった。業務に支障が出て今後心配。
木製品(製)	②この1年でさらに原材料費が上昇した。
税理士	②為替の変動が一時円高に振れましたが、再び円安傾向となり輸出関係の業種は潤っているものの、中小企業はいまだ厳しい状況。
ピアノ・オルガン部品(製・卸)	②円安の影響により値上げに苦しんでいる。
経営コンサルタント	②価格転嫁が厳しい。
事業協同組合(鍍金)	②原料高の高止まりや、廃液分析費用の値上がりで厳しい状況が続いている。

土木工事業	②資材の高騰、少子高齢化による職人の減少、コロナ融資による建設業の倒産、建設業の 2024 年問題。
菓子材料(卸)	②震災の心理的な影響なのか、買い控えを感じる。価格が高くなりすぎているのも影響している。
鋳材(卸)	②戦争による経済的不安が影響している。
建築工事業	②大阪万博に加えて、能登半島地震の震災復興のために建築資材の物価高騰が予測される。
ディスプレイ業	②物価高騰（原油高による資材送料などの値上げ）や多少ではあるが人件費の値上げの相談をもちかけられるケースが増えてきた。①スタッフでコロナ感染者が 2 名出て増加気配。
広告制作業	②物価高騰が止まらない。
楽器(製)	②物価高騰が止まらないため、今まで据え置きで頑張っていたが値上げを本格的に考えている。
税理士	②物価高騰による資材単価の上昇が懸念。
鉄材料(販)	③インボイス制度に関しては目立った混乱はない。
事業協同組合(鉄)	③電子帳簿保存法が始まりインボイスを含めて事務処理が各企業に浸透しておらず作業が大変である。
警備業	⑤警備業でも人財獲得のために賃上げを行っている会社が多いが、人財を多く獲得できたという会社を耳にしていない。多少の賃上げでは響かない様子。または、その賃金以上の業種が選ばれている様子。
電気配線工事業	⑤自然災害の影響で電線が不足（2 月末に発注受理されれば電線が出来上がり次第納品）

以 上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2024年2月期調査結果（2024年4月発表分）

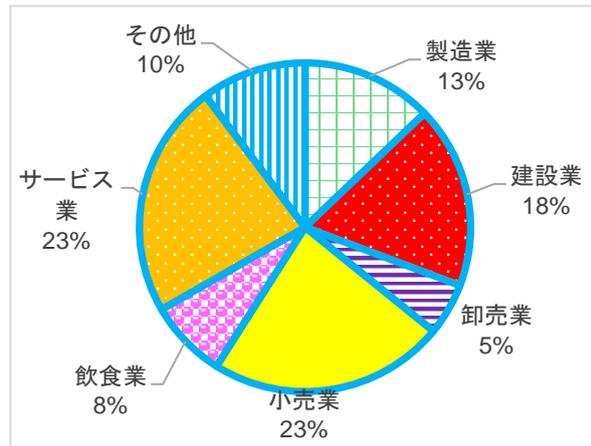
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2023年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は39名（回答率は60.9%）

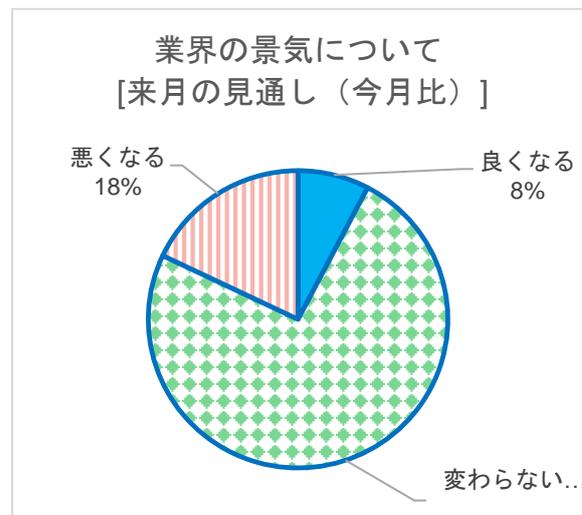
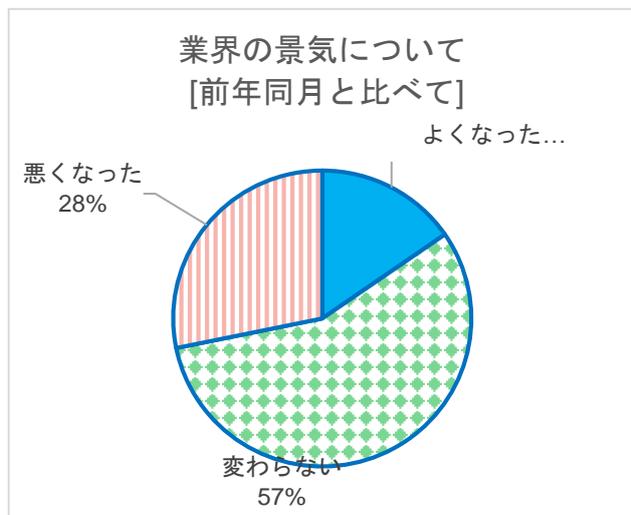
業種	回答者数	構成比
製造業	5	12.8%
建設業	7	17.9%
卸売業	2	5.1%
小売業	9	23.1%
飲食業	3	7.7%
サービス業	9	23.1%
その他	4	10.3%
計	39	100%



調査結果のポイント

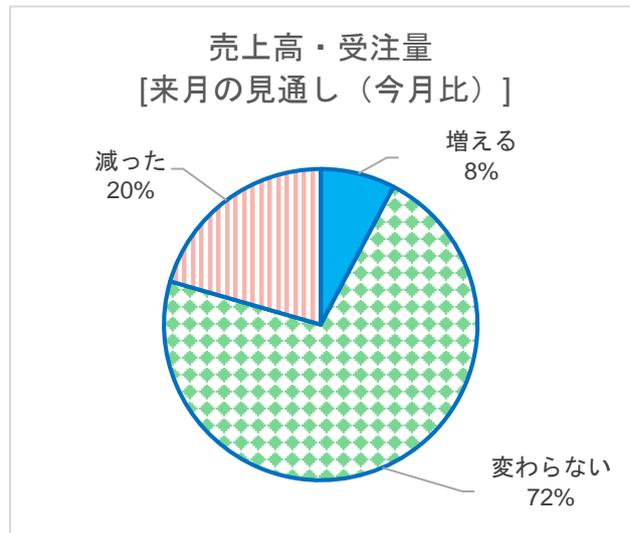
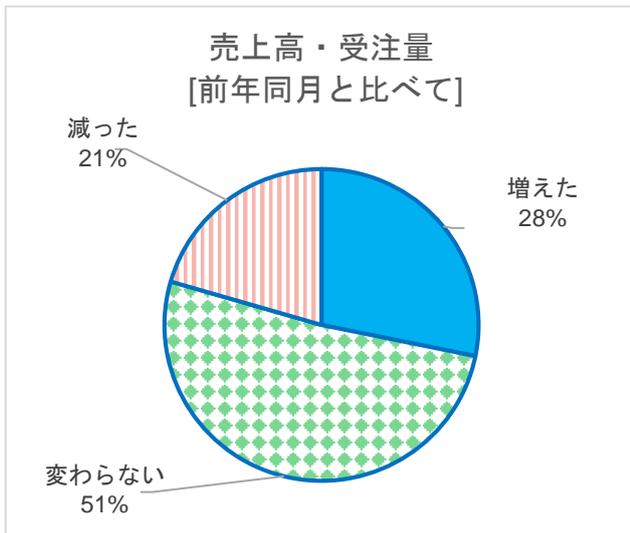
<景況>

- ・2024年2月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が15.4%、「変わらない」が56.4%、「悪くなった」が28.2%となりました。
- ・2024年3月以降の見通しについて、2月と比較して、「よくなる」が7.7%、「変わらない」が74.4%、「悪くなる」が17.9%となりました。



<売上高・受注>

- ・2024年2月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」28.2%、「変わらない」が51.3%、「減った」が20.5%となりました。
- ・2024年3月以降の見通しについて、2月と比較して、「増える」が7.7%、「変わらない」が71.8%、「減る」が20.5%となりました。



【景気動向 DI（毎月版）】

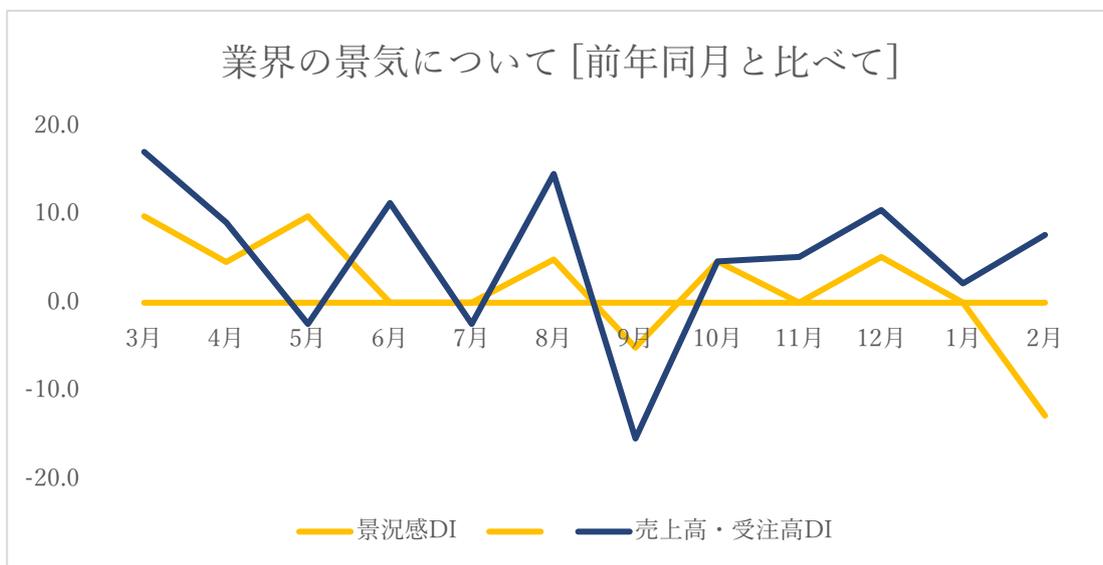
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI（ティフュージョン・インデックス）…前年同月比または前期比で「よくなった（よくなる）」と「悪くなった（悪くなる）」と回答した企業比率を引いた数値。

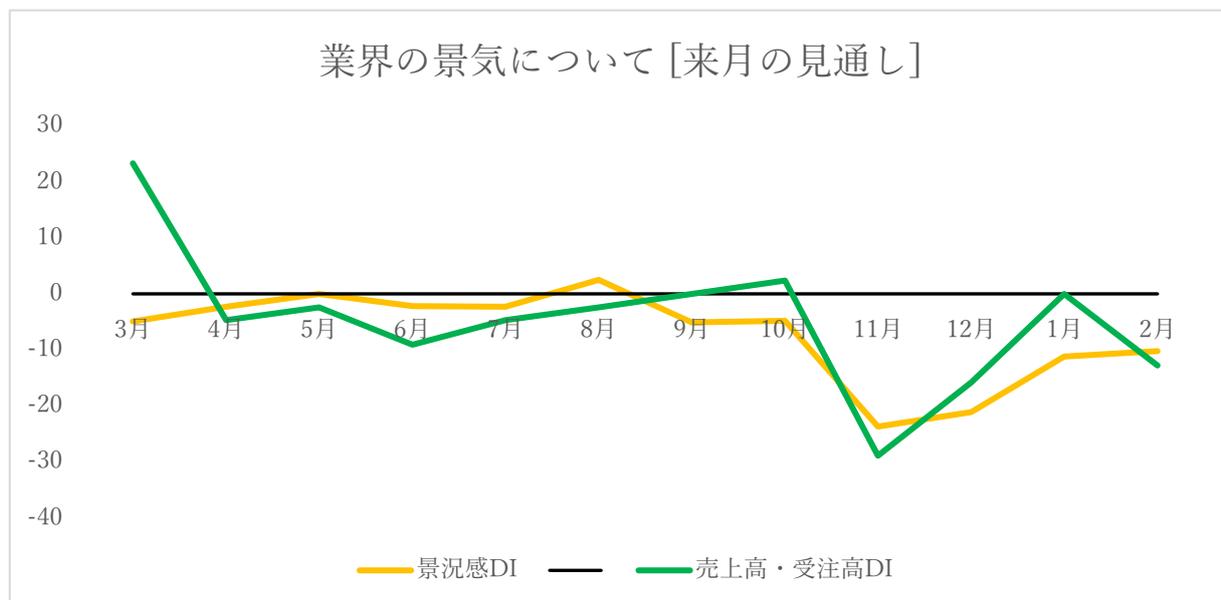
⇒0より上ならば「よくなった（よくなる）」と回答した人が「悪くなった（悪くなる）」と回答した人が多いことを意味します。

2023年3月からの景況感と売上高・受注高（前年同月比）は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
景況感DI	9.8	4.6	9.8	0.0	0.0	4.9	-5.1	4.7	0.0	5.2	0.0	-12.8
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
売上高・受注高DI	17.1	9.1	-2.4	11.3	-2.4	14.6	-15.4	4.7	5.2	10.5	2.2	7.7

2023年2月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景況について[来月の見通し (今月比)]												
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
景況感DI	-4.9	-2.3	0	-2.2	-2.3	2.5	-5.1	-4.8	-23.7	-21.1	-11.2	-10.2
売上高・受注量 来月の見通し (今月比)												
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
売上高・受注高DI	23.3	-4.7	-2.4	-9.1	-4.7	-2.4	0.0	2.4	-28.9	-15.8	0.0	-12.8

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
菓子小売業(製・小)	コロナ禍後、明らかにお祝いをするお客様・お祝い返しをするお客様が減った。お客様の財布のひもが硬くなったと感じる。
ピアノ・オルガン部品(製・卸)	仕入先の高齢化による廃業が続いている。
鑄材(卸)	地元の製造機械会社の受注減で、関係する企業は低迷している。
化粧品(小)	後継者がなく廃業が多い。
祭用品(小)	コロナ過後に生産力が著しく低下し、商品の供給が間に合わない。生産者の高齢化。
税理士	新規補助金の開始待ちで受注減少。
自動車タイヤ(小)	4月からの値上げは見送られた感があるが、海外の値上げが続いていることから、いつ値上げがあっても不思議ではない状態。今度の値上げは今までの値上げとは意味が随分違ったものと感じる。燃料の高止まりと合わせて、企業への負担増は限界状態。
警備業	警備業界は、人財獲得のために様々な取り組みをしているが、賃上げによる獲得方法は、業界内では行き詰ってきている様子。
税理士	税務署の調査（消費税）のことで心配している。
ごみ収集運搬業	不用品回収の無許可業者を駆逐してほしい。

社会保険労務士	36 協定の更新について、労働者が足りてないのに労働時間を減らさなくては いけない事業所は頭が痛い。
電気配線工事業	電線等の注文遅れ(モノによっては数か月間要する)
広告制作業	人材不足。
木製家具(製)	年度末に向けて受注は増えているが、忙しいところと止まっているところと両 極端。
家庭電化製品(販)	昨年の 10 月より石綿工事作業に資格が必要になり、エアコン工事・リフォー ム工事等の工事には、資格者がいなければ工事が出来ない。工事費も見直し が必要になる。
一般貨物自動車運送業	物流 2024 年問題への対応に追われている。問題が 3 月末までに解決される とは思えず、4 月以降も対応に追われそう。また、対応をあきらめている会社 もあり、今後も問題は長引くものと考えられる。
事業協同組合(石油)	うるう年で 1 日増加したことによりガソリンの販売数量は前年並みだったが、 天候不順により油外販売は落ち込み、また暖冬により灯油販売も激減した。 本年 4 月末までガソリン等への補助金は継続されるが、5 月以降の政府の対応 (補助金支給継続の有無など) がどのようになるかが懸念される。
事業協同組合(鉄)	年々、買い物難民がオズ化している。スーパーへタクシーで行くのは負担。公 共交通機関の利用が叫ばれているがバスの本数は少ないし問題は山積みして いる。
事業協同組合(もの づくり)	新卒者の採用が厳しく、中途採用も若年者採用は難しい。
事業協同組合(鍍金)	地元一部上場の業績悪化の一部影響もでている。
米穀類 (小)	仕入れの値上げ。
燃料(小)	円安の影響でガス仕入価格は高値のまま下がる気配を見せず、厳しい状況が続 いている。
建築設計業	工事価格の上昇により、発注者が想定していた金額を超える工事予定価とな ったために計画を中止する案件がある。

**①新型コロナウイルス感染症の影響 ②物価高騰・円安の影響
③インボイス制度への対応 ④ダイハツ問題⑤その他**

警備業	① 浜名湖花博・はままつまつり等々、これから多くのイベント開催の予定が あり、それに伴う警備業務は、新型コロナウイルス感染症には注意はする が、規制は無く計画されている。
菓子小売業(製・小)	② 材料費、運賃、人件費、円安など全てを総合して価格が沸騰している。
ピアノ・オルガン部 品(製・卸)	② 中国の景気が衰退しているので各自で別のルートを探している様子。別 ルート確立まで時間が要する状態。
化粧品(小)	②物価高騰の影響により、買い控えが続いている。
祭用品(小)	②商品の原価が高騰している。
木製品(製)	②相変わらずの円安の影響で資材が値上がりしている。
木製家具(製)	②材木の輸入がとまってる。
一般貨物自動車運送業	②燃油費、車両価格の高騰など利益を圧迫している。⑤中国経済の減速が荷主企業 の業績に影響しており、輸出関連の輸送業務は減っている。
事業協同組合(鍍金)	②原料価格・燃料費の高騰が持続している。
社会保険労務士	③確定申告して改めて感じる。2 割特例でもこれまで免税だった個人事業主に

	は痛い出費。愚痴もこぼしたくなる。
税理士	⑤若年層の人手不足の困りごとが多い。
税理士	⑤人手不足が常態化しているなか、大手企業の賃上げが続いており中小企業の求人環境はますます厳しくなっている。賃上げとともに自社独自のセールスポイントを構築する必要性を感じる。
社会保険労務士	⑤業界（中小企業）の適正な賃上げ率について知りたい。
物流運搬設備(製)	⑤賃上げに中小企業がついていけない状況。世間の流れは値上げであるため、やもえない流れとなっている。
事業協同組合(鉄)	⑤海外の工場、タイ中国での稼働売り上げが減少している。株高のわりに中小企業には高揚感を感じられない。
事業協同組合(ものづくり)	⑤大手企業の賃金上昇により、中小企業の採用環境はより厳しくなっている。

以 上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2024年3月期調査結果（2024年5月発表分）

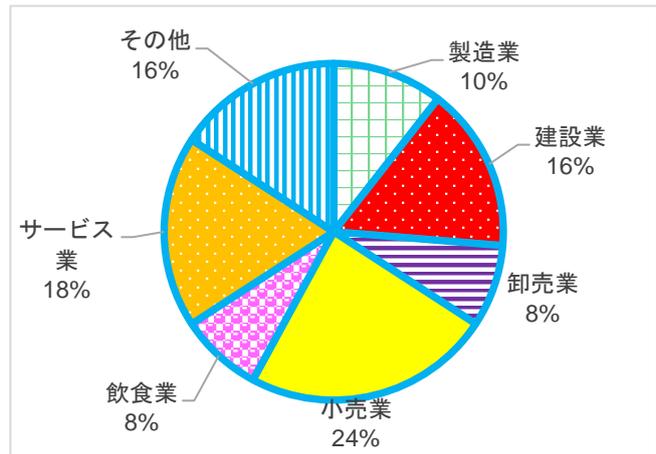
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2023年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は38名（回答率は59.3%）

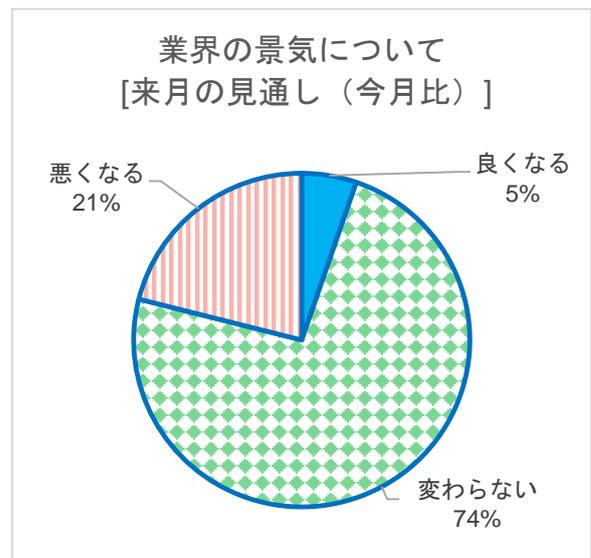
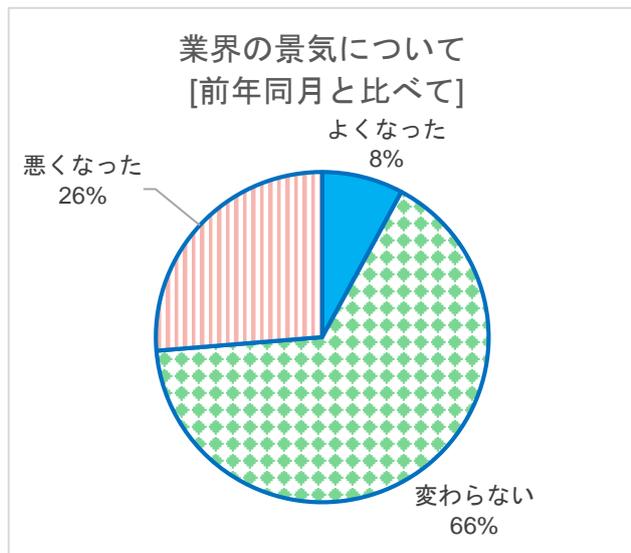
業種	回答者数	構成比
製造業	4	10.5%
建設業	6	15.8%
卸売業	3	7.9%
小売業	9	23.7%
飲食業	3	7.9%
サービス業	7	18.4%
その他	6	15.8%
計	38	100%



調査結果のポイント

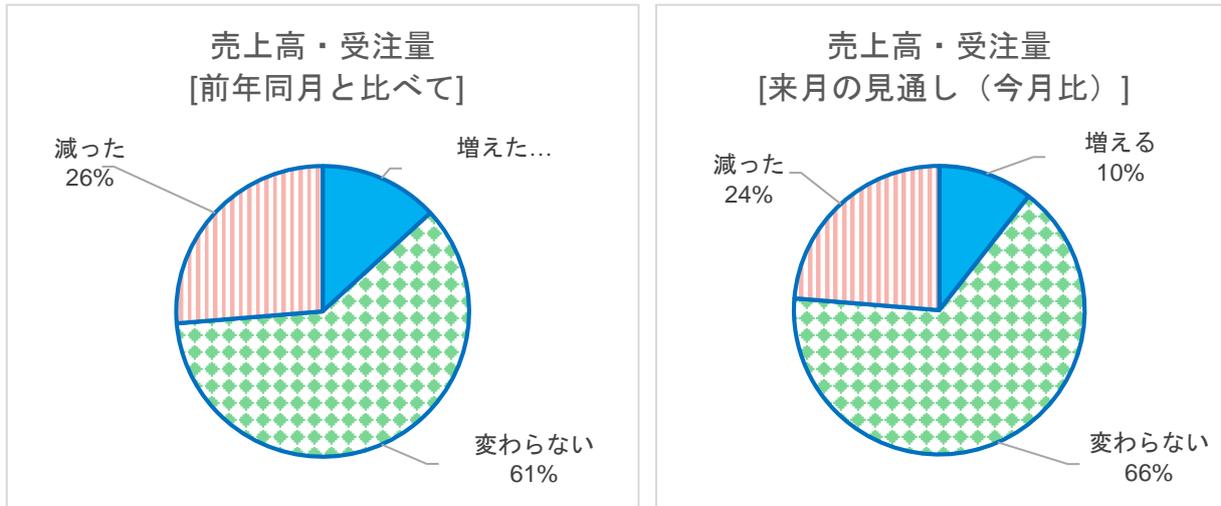
<景況>

- ・2024年3月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が7.9%、「変わらない」が65.8%、「悪くなった」が26.3%となりました。
- ・2024年4月以降の見通しについて、3月と比較して、「よくなる」が5.3%、「変わらない」が73.7%、「悪くなる」が21.1%となりました。



<売上高・受注>

- ・2024年3月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」13.2%、「変わらない」が60.5%、「減った」が26.3%となりました。
- ・2024年4月以降の見通しについて、3月と比較して、「増える」が10.5%、「変わらない」が65.0%、「減る」が26.3%となりました。



【景気動向DI (毎月版)】

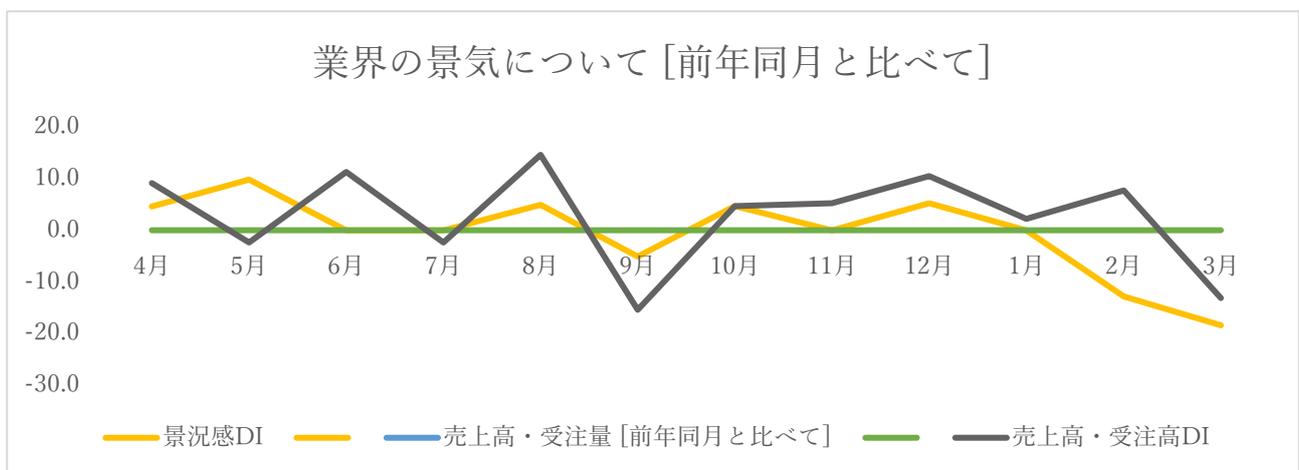
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

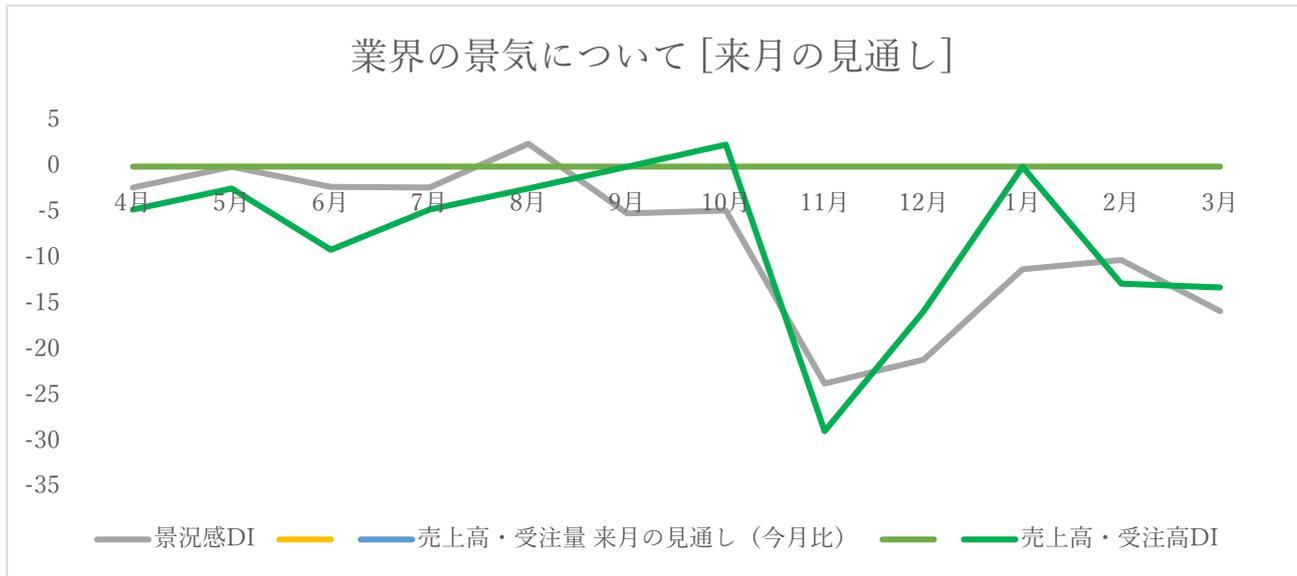
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2023年4月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
景況感DI	4.6	9.8	0.0	0.0	4.9	-5.1	4.7	0.0	5.2	0.0	-12.8	-18.4
売上高・受注高 [前年同月と比べて]												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上高・受注高DI	9.1	-2.4	11.3	-2.4	14.6	-15.4	4.7	5.2	10.5	2.2	7.7	-13.1

2023年4月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について[来月の見通し (今月比)]												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
景況感DI	-2.3	0	-2.2	-2.3	2.5	-5.1	-4.8	-23.7	-21.1	-11.2	-10.2	-15.8
売上高・受注量 来月の見通し (今月比)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上高・受注高DI	-4.7	-2.4	-9.1	-4.7	-2.4	0.0	2.4	-28.9	-15.8	0.0	-12.8	-13.2

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
警備業	催事での警備業務の需要は上がっているにもかかわらず、人財を獲得できず、供給ができていない。
建築工事業	能登半島地震の影響で、今年は耐震リフォームの需要が増える可能性がある。
木製家具(製)	リフォームの話はあるが、新築は控えている傾向がある。
自動車タイヤ(小)	4月からの値上げは回避され、一安心している。しかし今年中の値上げが無いとは言えず、大変厳しい一年となりそう。
木製品(製)	塗料の価格が急激に上がった。
鉄材料(販)	2024年問題で問屋に配達されるトラック便に制限が出るので、注文した材料が今までよりも納期が遅くなると問屋から言われている。
楽器(製)	春休みになり、多くの人が出動しているため、商品の動きが大きい。浜名湖花博2024にも期待している。
土木工事業	資材高騰、職人の高齢化。
税理士	新年度からの厳しい状況を見越して準備していたこともあり、ダメージは低い。しかし、今後投資の予定はついていない様子。
税理士	職人不足。
広告制作業	人材不足。
茶(加・小)	茶業は市場が始まる前にも関わらず、買い手の意欲が少ない。飲食は来店数の安定感がなくなり、落差が増した。
ディスプレイ業	年度末では多少仕事が増えると思ったが、駆け込み需要などもなく動きがなかった。
事業協同組合(鍍金)	原料・燃料費の値上がりを製品価格に転嫁できない。

社会保険労務士	今年は制限のない浜松祭りになるようで期待度も上がっているが、高齢化により役割分担が重荷になってきている。
サッシ・ドア(製)	新規の取引会社から請求後、安全費や管理費、広告費などの名目で値引きされる。SNSなどのテコ入れで新規が増えるのはいいが、トラブルも増えた。
鋳材(卸)	特に工作機械類の製造が止まっている。
玩具(販)	原材料費高騰の影響で、値上がりが止まらない。
家庭電化製品(販)	春商戦を迎えたが、全体的に商品の動きは鈍い。
事業協同組合(青果)	物価高に伴う経費の増加の影響が心配である。
事業協同組合(石油)	ガソリンの販売数量は前年並みだったが、寒波の影響もあり灯油販売は大幅に増加した。本年4月末までのガソリン等への補助金は継続されることになったが、5月以降の対応が明確ではなく、今後について懸念される。
燃料(小)	働き方改革関連法案による「物流の2024年問題」の影響で、LPガス輸送コストが上昇し、仕入価格が値上がりした。

①新型コロナウイルス感染症の影響 ②物価高騰・円安の影響	
③インボイス制度への対応 ④ダイハツ問題⑤その他	
警備業	① 浜名湖花博、浜松まつり、等々多くの催事が通常開催される見込みによりそれに伴う警備業務もフルスペックとなり、催事での警備業務の需要が上がっている。
ピアノ・オルガン部品(製・卸)	② マイナス金利解消が良い方向に向かうと予測したが、逆に円安になって輸入品価格が高騰して苦しくなった。
木製家具(製)	② ロシア等の紛争が終わらないと木材の輸入が正常化しない。物価の上昇に賃金の上昇がついていけない。
木製品(製)	② 円安が進み輸出はしやすいが、輸入材料の価格が上がるので円安が進み過ぎるのは問題である。
宝飾(小)	② 金価格の高騰
楽器(製)	② 仕入れる材料や資材等、数回の値上げによりかなり利益を圧迫している。収まる感じがしない事が問題。
土木工事業	② 資材の高騰、職人単価アップは影響が大きい。先の見通しとしては職人の高齢化、建設業2024問題の対応が大きな問題。
税理士	② 部材の高騰
広告制作業	② 物価高騰
農産物(卸・加工)	② 物価高騰の影響で高級品の動きが悪くなっていると同時に、贈答需要も減っている。
茶(加・小)	② 物価高騰をしても、お客様がついてこれる都会と、お客様が離れる地方の地域格差が否めない。
事業協同組合(鍍金)	④ 原料・燃料費の高騰が持続している。ダイハツ・豊田自動織機の影響が大きい。
社会保険労務士	⑤ 高齢者の採用が増えてきたが、年金を減額されたくないため短時間でしか働けない事が問題。
鋳材(卸)	⑤ 国内の製造業全般が低迷している
税理士	⑤ 人手不足が常態化している。学歴や経験にとらわれず、入社してから育てるという中長期的な求人方法も検討していく必要がある。
事業協同組合(ものづくり)	⑤ 大手企業の給料アップによる、中小企業の人件費対応が難しい問題である。

社会保険労務士

⑤ 有期雇用の5年ルール対策として、継続雇用の高齢者特例を考えている。

以上